

「うしろのものを忘れ、ひたむきに前のものに向かって進み、キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の栄冠を得るために、目標を目ざして一心に走っているのです。」

(ピリピ3:13、14)

東日本大震災、被災者の皆さまに心からお見舞い申し上げます。震災復興、福島第一原発事故に対処されている皆さまの上に、ますます神様の導きがありますように。



陸前高田市・がれきの中にいのちと暮らしを思う
(第3回「チア・東北サポート」より)

ハレルヤ！ 皆さん、お元気ですか。今、ロサンゼルス空港でこれから、日本に向かうところです。前回、4月のニュースレター送付の後に、2回、「チア・東北サポート」へ向かうことができました。「泣く者と共に泣き、喜ぶ者と共に喜び、…」との祈りの中で、被災者の皆さんからのリクエストに微力でも応じられ、祝福されたボランティア活動が許されました。来週からは、「第4回チア・東北サポート」で、チアのティーンや親御さんら25名と向かい、釜石、石巻、久慈、若林区などで、これまで出会った皆さんのリクエストに応じてきたいと思っています。お祈りください。

先月からスタートしました、「チアサポートスクール (CSS)」ですが、予想以上の好評をいただいて、スタッフ一同、励まされています。20、21ページで、「スタート45日目のCSS生たちの声より」を特集して届けますね。

来月11日には、久しぶりの「関東ミニ学習会」が開催予定で今から楽しみにしています。英語教材「GrapeSEED導入セミナー」も開催され、首都圏以外の方々はオンラインで生中継される予定です。また、いよいよ11月の白馬セミナーの受付も始まりました。

歴史上、希有の大震災が許された東日本の皆さんへの祈りの中、つながっている私たちの未来への歩みも、一歩、一歩、導かれているのではと思っています。皆さんへのますますの祝福を祈っています。

チア・にっぽん代表 稲葉 寛夫

【今月の巻頭言】

- | | |
|--|--|
| 1 第2回 「チア・東北サポート」レポート… P1~8 | 4 ホームスクーラーも浸食する、新しいソーシャル(ネット)ゲーム… P10 |
| 2 ティーン向けメッセージ 「限界からのあと一歩」-チア・サポートスクール (CSS) にて… P8 | 5 第3回チア・東北サポートチーム (ボランティア23名) 恵みの中に敢行! … P14 |
| 3 クリスマンだけは雇いたくない! -クリスマン経営者たちの嘆き… P9 | 6 第4回サポートに向けて… P15 |

皆さん、こんにちは。第2回チア・東北サポート（4月19日～22日）、第3回チア・東北サポート（5月10日～13日）へ行き、とても恵まれて帰ってきました。第4回チア・東北サポート（6月13日～16日）も、ホームページで呼びかけたところ、2日もしない内に、満席（23名）になってしまい、第3回に続き、何人かの皆さんには、ウェイティング、次回以降にまわってもらうことになりました（その後、自家用車で参加予定の2名が加わって25名）。皆さんの熱い祈り、ご参加、サポートを心から感謝しています。

今、現地では、第二ステージの新しいニーズが出てきています。チア・東北サポートかどうかに関わらず、出かけることができる皆さんはぜひ、出かけられたらと思いました。仮設住宅に移動したり、自宅避難の方々の生活も本格的に始まり、浸水してヘドロにまみれた家具や畳の処分、床下のヘドロかきが必要になってきたり。個々の日常の生活物資も、震災直後の避難所時代とは違って、新しいニーズがたくさん出てきています。用意周到でなくて、飛び込みボランティアでも、いろいろと喜ばれる仕事がたくさんあります（チア・東北は第5回を8月第2週、第6回をその後に予定しています。それ以外の日程等でも、現地のミニストーリー等も紹介できるので、どうぞ、連絡ください。第5回募集要項は15ページです）。

以下、第2回の派遣の報告も綴りながら、この2ヶ月余りのチアの動き、神様に教えられていること、祈りの課題等を分かち合いますね。どうぞ、よろしく願います。

コロラドから日本へ — 日本行きは満席に、、、でも、、、

4月14日、日本を応援したいというコロラド州の方々とミーティングを終えて、パーバンク空港へ、そして自宅に帰宅。

4月15日、ロサンゼルス空港からサンフランシスコ空港経由で日本へ。原発事故以来、ガラガラだった日本行きの便は、満席です（海外の皆さん、少し日本に戻りつつあるのと、中型機だったせいでしょうか。でも5月10日、6月6日に、成田空港を利用したところ、すごい、がらがらでした。パスポート審査の窓口の半分は閉じられ、審査官の方は、「3月11日以来、成田空港利用者は、激減したままです」とのことでした）。

仙台・明泉学園理事会へ

4月16日、羽田空港に夜11時着予定が、10時15分と早く着きました。その日、スーツケースが届かず、ゲートを出したのは11時すぎ（荷物が遅れたのは過去3回くらいあるかな）。16日、17日は、明泉学園の理事会等があって、仙台に向かう必要がありました。でも、この時点では、新幹線は不通で、明泉での日曜礼拝に参加予定のフェリーチェスクール（群馬）の田村さんたちの車に乗せてもらうことになっていました。

17日、出発が午前5時。羽田から伊勢崎への到着が午前



跳ね上がった線路（この先の鉄橋は橋げたと共に流されていた。釜石市）。

1時すぎだったので、少しハード。でも、途中、田村さんと、大震災前後の動きを話していけたので、とても楽しく有意義でした。「明泉学園理事会」や、「グレープシティ社総会」等。この10年、明泉学園の評議員として参加させていただいていますが、いつも、いろいろと学びになります。

二日間、朝7時半から、5時までの会議。夕食にジャシュアさんが招いてくれて感謝でした。そこにポール・ブローマンさんがリハビリの歩行器につかまって現れました。その後、長男のポールJr.さんに連れられて、ポールさんの寝室へ。

「（ポールJr.さん）ダディ、Hiroだよ。わかる？」「（ポールさん）Yes.（僕を見て、うなずく）」「（稲葉）わ、うれしいなー。ポールさん、ありがとう！覚えてくれますか？」「（ポールさん）Yes.（うなずく）」「（稲葉）ポールさんのこと伝えたら、みんな喜ぶよ。ぜひ、みんなへの祝福を祈っててください」「（ポールさん）I will!（祈るよ!）」（徐々にコミュニケーションできて、とてもうれしかったです）

物資の準備 — スコップや長靴の必要

夜は前号のニュースレター原稿を書きながら、サムエルさんやナタンさん、トーマスさんほか、最近、被災地に入ったばかりの皆さんから、「第2回チア・東北サポート」のための情報収集等しました。今、現地では、「スコップや長靴が喜ばれている」と聞いて、東京でスタンバイしているチア・サポートスクール校長の堀井卓さん、洋二さん、桑谷美穂チア・スタッフらに連絡。食料品は、

今回は、インターネットで桑谷スタッフが、各種、購入してくれていて、早速、長靴、スコップ等を追加でそろえてもらうことにしました。幸い、さらに多くの皆さんが義捐金を送ってくださり、チアに、さらに130万円ほど（総計240万円ほど）与えられ、購入する予算が与えられていました。

現地のコンタクト先の情報も、神様に祈っていましたが、与えられていきました。最初は、ダビデ・ファンガー君(23)。彼らが、伝道中に出会った大船渡のA医師の人々が地域の助け手となってくれたと聞き、ダビデ君を通して、連絡を取ってもらいました。A医師も大歓迎と応じてくださり、18日は大船渡に向かうことにしました。

4日間のスケジュール決定！

4月18日朝6時、仙台へ。昨日まで南三陸町をまわっていた十三男（とみお）・ブローマン君と話して情報確認。「やはり、避難所は、物資等、あふれているところが多い。でも自宅避難している浜辺の人々等のニーズは高く、チアの案の『個人や集落をまわる』という案は、いいと思う」と賛成してくれ、方向性を再確認。また、トーマスさんの紹介で、石巻のBさんとも連絡を取りあいました。Bさんの水産加工場は被災したままで、「泥かき」等の力仕事のボランティアを探しているとのこと。ほかに、釜石のそばで、12メートルの防潮堤が津波で流されたすごい写真を新聞が1社だけ、報道していました。それは、神様が許された、すさまじい威力を実感できるシーンと思え、早い段階で、一度、取材に行きたいと思いました。

「まったく飛び込み・アポなしで、物資の支援やボランティアを申し出た場合、どこまで、道が開かれていくか、それも試してみたいと思いました。白紙だったスケジュールは、仙台→大船渡→釜石→仙台→石巻→東京と大まかな計画が与えられました。ハレルヤ！

軽トラックと物資・スタッフの増強

午後、東京から堀井卓さん、洋二さん、そして洋二さん次男の伊左久（イサク）君（20）がマイクロバスで仙台に到着。伊左久君とは、サマーキャンプや白馬でのLIT以来です。サマリタンズパースから高圧洗浄機セットを載せた軽トラックを借りて、僕が運転していくことにしました。

洋二さんのマイクロバスは、東京で調達した食糧・お菓子・長靴等で満載。でも、僕が軽トラックに乗るため、その座席分、少しスペースできました。そこで、さらに物資を備えていこうと、サマリタンズパースや、国際飢餓機構の支援物資の倉庫へ行きました。

「心と物資」、両方の必要

現地は、いろいろなニーズがあるので、いろんな種類の物資を持っていくと喜ばれる！それが、前回まわって実感したことでした。

ある人が「もう物資の目途はつきました。でも、これからは心のケアが大切」と、義捐金集めをし、それを聞いた方が「そういう状況なんだってねー」と話してくれ、胸が

痛みました。実際は、両方、必要な方が多いです。多分、そのような言い方をされた方は、TVのニュース等だけで発言しているか、現地に行ったとしても、役場や大きな避難所だけをまわって、被災者の人々と直接、ふれあってないのではないかなーと思いました。確かに、避難所を仕切っているお役所の方々は、「もう物資はいりません」と言われるケースが多いと思います。第1回に行った8ヶ所の避難所では5ヶ所ぐらい、そんな対応でした。整理しきれないとか、みんなに公平に配れないとか、いろんな理由で。でも、被災した人々の生活は、一日ではなくて、毎日、続いているので、日々、必要が出てきます。食糧も、一度、補給したからOKではありません。時にニュースで、物資が山積みになっている場面が報道されますが、それは役所や町の中央部にある避難所のことです。住宅半壊などで自宅避難している人々には行き渡っていないのが現状です。16万軒を超える家屋が全半壊し、親戚や近所に着の身着のまま仮住まいしておられる方々も少なくありません。また多くの皆さんは車が流されているし、近くのガソリンスタンドも流され、高齢者の方は、たくさん物資を運ばれません。また、仮設住宅での生活が始まり、様々な生活物資が必要になってきます。家や仕事を失い、多くの人々は経済的に厳しいです。そんなわけで、「心と物資」のボランティアの必要はまだあります。

全国からの無償の愛

サマリタンズパースと国際飢餓機構で、いくつか支援物資の補給。この倉庫には、全国、海外のクリスチャンから届いた、愛の結晶みたいな空気が流れているなーと思いました。まったく無償の愛で、皆さん、送ってくださっているわけですから。また、そこで働いている人々も、多くの人々は無給のボランティアの皆さんたちだし（一部、有給スタッフの方もおられるけど）。ここには、何度来ても感動してしまいます。

国際飢餓機構のCさんが、「肉とキノコと野菜、持って行きますか。誰も持って行かなくて、今日持っていかないと鮮度が落ちてだめになっちゃうし」とのことでした。「(稲葉)喜んで！」と全部もらうことにしました。野菜とか10箱分と、凍らせた肉5バック。これも、後ほど、ずいぶん、喜ばれることとなります。

倉庫に、グレースシティで働いているホームスクーラーの松岡さんがひょっこり現れました。2日だけ参加したいと上司のきよこさんから許可が下りたとのこと。お昼、出発前に、グレースシティ社で会い、「これから行くけど、どうでしょう？」と声をかけましたが、きっと忙しくてこれないだろうと思っていました。そうしたら、きよこさんから「早く、行ってらっしゃい！その代わりに、21日の朝の仕事には間に合うように」と励まされたそうです。これも無償の愛。ハレルヤ！

一路、大船渡へ

午後3時過ぎに出発して、約3時間。山あいの国道を走っていたところ、突然、全滅に近い状況の集落が現れました。陸前高田市。かなり山間部と思われるのに、多くの家

が根こそぎ流されたという感じで、ことばを失います。3月の東松島、石巻、南相馬とは、また違った様子です。こんな山辺にまで津波が押し寄せたのか、一気に暮らしや命が奪われ、どれだけ辛かっただろうか、、、と、ショックを受けました。数キロ走って、海辺に進むと、平野が開かれますが、一帯が壊滅状況。市街地で、道路は広がるものの、あちこちで断線・隆起し、通行止め、迂回の連続です。崩れた国道の脇に、仮の道路が造られているものの、まだ海水が流れ、車は徐行し、海水をかき分けて走ります。橋も流され、突貫工事で架けられた仮の橋に進みます。5階建てのホテル等以外は、がれきすらも残っていません。そのホテルも、3階までは完全にやられていて、悲しい表情に見えます。被災した町の状況は、それぞれ違い、そのひどさに、胸がつまります。

2Fだけ、明かり灯った教会へ

夜7時、大船渡のA医師の病院に到着。A医師は、今回の津波で、同居していたお父さんを天に送りました。ドアに手をはさまれて、そのまま津波の水かさが増して、、、とのこと。そんなA医師の案内で、A医師宅の隣に建てられた教会へ。韓国からの女性伝道者の朱恵子さんと、一緒に牧会をしている女性のみどりさんが笑顔で迎えてくれました。1年半前に建てられたばかりの教会でしたが、1Fは全部浸水で、あちこち破壊され、流されてきた泥や、木材やタイヤの山でした。2Fは、ぎりぎり大丈夫で、「昨日、ようやく電気を通してもらったところ、、、」ということで暗がりの階段を手探りで登り、2Fに行きました。

まず喜ばれたのが、持っていった肉とキノコと野菜。朱伝道師たちも避難所で暮らし、出会った方々に配給等もされておられ、「これ、皆さんに喜ばれる！ みどりさんが、今、作ってたカレーライスも肉も野菜も無しだったの。入れさせてもらいますね」。ハレルヤ！

3月11日の様子を聞きながら、カレーライスの晩餐もとてもおいしかったです。津波のとき、朱伝道師は、津波のアナウンスが聞き取れず、教会で祈っている時に浸水が始まり、2Fに逃げたそうです。みどりさんは道を歩いていて、近くの民家の人の助けで、その屋根に逃げたとのこと。でも一緒にいたもう一人の伝道師のDさんは、みどりさんの目の前で、濁流に流されたとのこと。Dさんは、その家の裏庭に流された後、生け垣にひっかかって、しがみつき、屋根の上に助けられたとのことでした。水深3-4メートルあまりの濁流が引き潮になって急速に戻り始める直前でした。みどりさんの目の前で起こった出来事は「まるで、映画を観ている不思議な感じでした」とのことです。

水道やガスの復旧はまだですが、通じたばかりの電気でも部屋も暖かくしてくれました。今回、夜はマイクロバスで寝るのかなーと思っていたので、とても感謝でした。

浸水した教会の掃除から

2日目は、早朝祈禱会、津波に襲われた教会の掃除。講壇の脇に立てた、立派なクリスタル製の大きな十字架は、

地震の時に割れないように、必死に手と体で押さえ、守ったそうです。でも、その後の津波で全部、流されたそうです。しかし、津波の後で、町の人々とふれあう機会も広がり、避難所暮らしの中で、福音を分かち合うチャンスも広がって感謝だったとのことでした。新築1年半の教会も、ヘドロとがれきにまみれていました。それで、まず、掃除を手伝ってから出ることになりました。

浸水してない人々も痛んでいたー 解雇・失業、そして

その後、朱伝道師のリードで、低所得者層の多い市営住宅をまわって、支援物資を配布。津波の被害の無い丘陵エリアだったので、「うーん、どうかなー？」と思ったけど、話を聞くと、「水産加工場に夫婦で勤めていたけど、津波で工場が流されて、今、解雇。まったく収入はないし、失業保険には、まだ日数かかるし、お金がない。それで、食事の時は、避難所で食べさせてもらっている。でもガソリン代もかかるし、毎回行けないので、このような助けはとても助かるの。今、主人はガレキ片付けの仕事につこうとしてるんだけど」と、とても喜んでくれました。避難所で出会った朱伝道師を通してクリスチャンになられたという、中国からの姉妹のことばです。そのほか、フィリピンから来られた方とか、その方の近所の3家族とか、みんな喜んでくれました。物資を持っていけて良かったと思いました。津波直接の被災者の皆さんはもちろん、町全体が苦難の中にあることが実感できました（今回の被災での失業者数は、100万人を超えるだろうとの報道もありました）。



「工場が流され、解雇。収入が無くて、(物資)うれしい！避難所でイエス様、信じました！」

崩壊した高さ12メートルの防潮堤 — ジャンボ機250機分以上の衝撃

大船渡の中心部の廃墟を見つ、釜石へ。途中、完全に

落ちた鉄橋、トンネルに行くと、断線した線路のレールが、ぐにゃりとまがり、3メートルあまりの高さにはねあがっていました。そして1枚の報道写真がとても印象的だった、破壊された巨大な防潮堤の場所に着きました。約500メートルに渡って集落を守っていた高さ12メートルの防潮堤。幅が一つ20メートルを超える重い防潮堤が4つ、ごろんごろんと、なぎ倒されていました。どれだけ、すごい破壊力であったことか、...



横倒しになった12メートルの防潮堤（釜石）

高さ12メートルの防潮堤の上を伊左久君がびよんびよん、写真を撮りに行くので、僕も一緒に行きました。壊れた防潮堤の上に行くためには、高さ12メートルの場所で、約80センチぐらいのすき間をジャンプする必要があります。それで、僕もジャンプしようと思ったけど、すきまの下は、12メートルの落差。チャ・サマーキャンプでLTたちが行く滝つぼは、もっと高いのだけど、下は水。今回はコンクリートだから、万が一、着地失敗したら、絶望的。でも、ここは意を決してジャンプし、成功しました。続いて、松岡さんも着いて来て、撮影も終了。帰り道、再びジャンプで松岡さん「これ、こわーい」。そう、ここは伊左久君がやってくれれば、絶対、来てなかったと改めて思いました。この上にも、家の屋根の重いかわらが残っていて、津波の高さや力がどれだけだったかを物語っています。ジャンプする足場を作るために、それを落としたり、「ガランガランガッちゃん！」と、はるか下で木端微塵になる音が激しく響きました。

早稲田大学の教授の試算によると、津波の威力は、ジャンボジェット機250機が全速力でぶつかった威力とのことです。目に見える津波は10数メートルから40メートルで、それだけでもすごいです。でも津波とは、表面に現れた波の力だけではなく、震源地が、深さ3000メートルであれば、3000メートル分の水量全体が動き、水面下の波となって岸をめがけて走ってくるということです。そのエネルギーを受けた波が激突し、すごい破壊力となるとの説明でした。それはここに来ると十分、実感できます。今度、ティーンとか来たら、必ず、連れてきてあげたいなーと思いました。ジャンプするかどうかは別として。

飛び込みの物資サポートを、町内アナウンス、町内の皆さんの歓迎—初対面での心のきずな

それから釜石市内へ。ぼろぼろになった新日鉄釜石の製鉄所を抜けて、釜石港に向かいます。人の姿が消えています。「(稲葉)石巻は、浜辺に家が密集して自宅避難の方もずいぶんおられたけど、このあたりは誰もいないね。人がおられるところに飛び込みで行ってみようかな」。3Fぐらゐまで津波の被害が残っている、5F建ての団地にも、人の気配はありませんでした。「(洋二さん) そうだね。向こうに見える、山側の町、どうだろう?」。トライしてみたかった、アボなしでの支援活動の始まりです。

マイクロバスが通れるぐらいの坂道を登っていくと、軒先に、おばさんの姿が見えました。バスを止めてもらい、少し年配のEおばさんに、洋二さんと声をかけました。そのEおばさんは、見ず知らずの私たちを、よく受け止めてくれて、「町内会長のFさんに連絡するから、ちょっと待って」ということになって、通りにいた別のGおばさんに「Fさん、どこに行ったかな。支援物資、持ってきてくれたんだって。さっき、ここにいたんだけど」「(Gさん) 家に行ってみるわ。向かいのIおじさんが出てきて、「物資配給の町内放送かければいいんでないか」ということで、駐車場でお店を開くことになりました。10数人集まってくれて、さらに町内放送で、「ただいま、ボランティアの皆さんが、支援物資を持ってきてくれました。通りの駐車場にお集まりください」と2度、3度とアナウンスを入れてくれました。すぐに50名ほど集まられ、一気に、にぎやかになりました。持っていったマイクロバス1台分の支援物資は、15分ほどで、全部、わーっと無くなりました。僕たちの食事用の缶詰も、「(洋二さん) 稲葉さん、これ、僕らの缶詰だけど、あげてもいいよね」「(稲葉) いいと思う」ということで、魚の缶詰、小さめのダンボール1箱分も並べました。いろんな種類があったので、これ、大人気。みんな好きなのを選んで持って行ってくれました。

「ここは誰も来てくれてなかった。うれしい。避難所に行くも行っても、車もないし行けないから、大変だったんだよ」「そんなに喜んでもらって、僕たちもうれしいです。もし喜んでもらえるようであれば、また、僕たち来ますので」「(Jおばさん) それはうれしい。今度、良かったら下着を持ってきて」。町内アナウンスの手続きをしてくれたIおじさんは、「船を2艘持ってたけど、流された。残ったのは、このバッテリーだけなんだ」と、墨のすずりみたいな小さなバッテリーを二つ、見せてくれました。「一つ向こうの町は、津波は何も来なくて天国。でも、こっちは地獄だよ」。

そんな中で、みんな、とても喜んでくれて良かった！Kおばさんは、小さな体で、ふろしきに包んで物資を背負い、坂道を上っていきました。すごくかわいらしい感じだったので、「写真撮っていいですか」と言うと、「(Kさん) あら(笑)、こんな格好してるものね。いいですよ」。近くにいたLさんは「Kさん、ありがとうございますって、にっこり笑って写るんだよ！」と笑って話しました。

最後、町内会長のFさんと「もし良かったら、また来ますので」と、連絡先等をいただいて、僕たちは帰ることに



ふるしきのKおばちゃん

しました。7、8人残って、感謝して見送ってくれました。それで皆さんに握手してあいさつしました。さっきの船を2艘流された1おじさんの番が来たので、改まり、威を正して、「船、2艘流されましたそうで」と頭を下げて握手の手を差し伸べたら、みんな爆笑。1おじさんも、「(笑)」で、しっかり握手し、ぎゅっと握りしめてくれました。なんか少し心が通じ合えたみたいで、うれしかったです。

陸前高田から気仙沼へ 壊滅的な街並みと大火の焼け野原へ

再び、壊滅状況に近い、陸前高田へ。昨日は走れた道路や臨時の橋は、今日は通行止め。

道を迂回しながら、気仙沼へ。津波のあと大火事になったところ、がれきと焼け野原のつづく、本当に胸が痛むエリアを車で走り続けます。立ち込める重油の臭い。他の町と違った、火災地の臭いが続きます。40メートルほどの大きな漁船が焼土の住宅地に置かれたままでした。夜10時半ごろ、仙台のワインスタジオに到着。NLの締切日で、最終原稿のメールをダウンロードしている内に眠ってしまい、起きたら1時半。あわてて、原稿の最終修正にとりかかりました。

翌朝は7時集合。昨日、チアからの物資は全部、配ったので、サマリタンズや国際飢餓機構に物資の補給に向かいます。それから、石巻で水産加工場をして被害にあったBさんの自宅へ。

そこは、3月に訪れた避難所の近くでした。「あ、前に来た避難所だ。校門の前に、流された消防車があったよね。あ、まだあった」。かなり復旧も進んでいましたが、まだまだの状況。ここでもすごい感動の一日が待っていました。

2時間後にわかった理由

Bさんの家では、ヘドロとかの清掃、濡れた畳、タンス、家具とかの廃棄の手伝いでした。最初、Bさん(44)やお父さんのCさんらにあいさつをし、まずは、庭に流

れ着いた魚粉の袋運び。俵のような大きさで、水を吸って固まっているので、4人がかりでようやく動く感じです。「(卓さん)100キロあるよねーこれ」。あれと思ったのは、最初、CさんやBさんが立っていて、作業しているのは僕たち4人だったことでした。表情もことばもあまりありません。「疲れているのかなー。遅刻しちゃったから、信用失ったかなー。本気で助けようとしているかどうか、見ているのかなー」。朝、物資補給に手間取り、また、渋滞に巻き込まれたりして約束の時間より1時間遅れて到着し、昼抜きで作業に入ったのでした。

でも、その本当の理由は、後でわかりました。30分、1時間と僕たちは、とにかく全力で働きました。徐々にCさん、Bさんが、水産加工場主らしい力を発揮していきます。そして2時間ぐらい経った時、Cさんがぼつりと言いました。「震災の2日後ぐらいからね、夜に、さあ、明日は片付けに入るぞーと計画立てるんだけどね。でも次の日になって、このがれきの山を見るとね、それだけで気が失せてしまってね。明日こそはやらなきゃ、明日こそはやらなきゃと思いながらの毎日。でも1ヶ月、何もできなかったんで」。それを聞いて、僕はようやく状況が飲み込めた気がしました。衝撃は、家や職場だけでなく、心に押し寄せ続けていたことを。頭では、こう動こう、こう動かなければと思っていても、体は動けなかったんだな。僕たちが来たことを、大変恐縮して、礼儀正しく迎え入れてくれたCさんとBさん。きっと自ら率先して動かねばと思っていても、最初は、憔悴しきった体が動かず、それが、少しずつでも家が片付いていく中で、本来の元気と力が出てきたんだなーと思いました。

水に浸った畳の重さ

実際、後片付けは簡単ではありませんでした。頑強なCさん、Bさん親子でも、2人ではとても無理な状況です。畳1枚も、水とヘドロを吸い込んで、とても重いのです。伊左久さんと二人では持ち上げられず、狭い庭先を転がして運びました。濡れてねじまがった畳が倒れないように、かなり腰を入れて体全体で押さえ、必死に転がしました。多分、16枚ぐらい。後で、ニュース番組で、「水に濡れた



水につかった家財の処分。重いです！(石巻にて)

畳は、大人4-5人でなければ運べません」と報道されていて、「そうかー。やったー。僕らはよくやったんだ！2人で動かしたんだから！」と誇らしげに思いました(笑)。部屋にたまったヘド口の山も、簡単には動きません。水浸しのタンスも重い。とにかく、4人のボランティアとCさんBさん親子、総計6人は、ふらふらになるまで約5時間、必死に家財道具の処分とヘド口かきに明けくれました。

失敗した一言 — 「お孫さんが希望ですね！」

共同作業の中で、気持ちも通い始めます。「(稲葉) いやー、重いですね。いい腰の運動になります」「(Cさん家族) 笑。受けて良かった！でも、失敗した発言もありました。1才半のお孫さんがいたので「(稲葉) お孫さんたち、希望ですね」と言いました。幼い子どもたちって、「希望」を与えてくれる存在で、和ませてくれるじゃないですか。でもおじいちゃんのCさんからは、しばらくことばが返ってきませんでした。沈黙が続き、僕は気づきました。今は、孫を見て、「希望」とは即答できない、不安や失望、痛み、悲しみの中にあるのだったということ。少し休憩のあと、「(Cさん) 今日、東京に帰るんだったら、もう、これぐらいで」「(稲葉) いや、大丈夫。このヘド口片付けてから。これを2人でやったら大変だし。6人だったら、すぐできるし」。作業は順調に進み、1Fのヘド口かきは、ほぼ終了。きれいになりました。

寡黙なCさんとBさんが、最後、それぞれ別な場所で「助かりましたー。本当、助かったー」と、心の底からあふれてた安堵と実感の声みたいな感じで、言ってくれました。

天使だったのかな？

その後、「(稲葉) ご近所とかで、物資、必要な方おられれば少しありますが...」「(Bさん) うーん。どうかなー」「(稲葉) もちろん、無理にはありませんので...」。ご近所の関係とか、いろいろあるだろうから、しない方がいいのかな...、と思いました。それとは別に一つ、Bさんに話しました。「(稲葉) お昼に、ここ着いた時に、最初、家がわからなくて、その角の道に入っちゃって。そうしたら、40代ぐらいの若い夫婦が、僕らを見て、物資の支給ですか。私たちがほしいですが...と来られたんです。『これから、そのT水産で作業するので、車、移動しますが、どうぞ、そこに来てください』って言ったんだけど、来られなかったなー」「(Bさん) え？ そうですか。このあたりでは若い夫婦っていないんだけど、誰だろう？」「(稲葉) この角をまがった道路のアパートに入っていかれましてけど」「(Bさん) そういう人、おられたんですか。うーん。誰だろう？ 行ってみましょう」ということで、Bさんと捜しに行きました。若い夫婦とは会えませんでした。

Bさんは、近所に向かって大声で呼びかけ始めました。「(Bさん) 誰かいませんかー。これから物資の配給が始まります。角のT水産です。誰かいませんかー。まわりは、全が一階が浸水した半壊状態の家々なので、人の気配はほとんどありません。静けさの中で、Bさんはびっくりするような大きな声で繰り返します。「誰かいませんかー。物資の支給を始めます」。一緒についてきた長男のNくん

(4才)も、お父さんに負けない大きな声で「誰か、いませんかー。物資の支給始めます」。静まった住宅地に親子の声がこだましていく中で、一人のシニアのおばさんが、ドアから顔を出しました。「(Bさん) これから始まるよ。東京から助けにきて、いろいろ持ってきてくださったんだ」「(Oさん) わー。お水あるかなー。足りなくて困ったのー」。Bさん親子はさらに10分ぐらい、叫び続けました。僕は、ものすごく感動してしまいました。

T水産の庭に戻って、マイクロバスから物資を出した頃には、20人あまりの方々が集まってきてくれました。「わー、ニラがあるの？ にんじんも？」「私、飲み物。お茶があれば...」「鍋とかお皿とか、台所セットだって。これ、助かる」「私の知り合い、赤ちゃんいるから、子どもの服助かる」「ほら、あんたたち、カロリーメイトあるよ」「(高校生) やったー。もらっていきます。ありがとうございます」「毛布もあるの？ ありがとうございます...、とまたまた15分ぐらいでほとんど無くなって、またまた洋二さんから、「稲葉さん、これ、今夜、帰りの僕らの食事用だけど、いいよね」ときたので、「(稲葉) いいと思うよ！」となり、今晚の夕食用のパンや、缶詰、栄養ドリンク等、広げて、これも好評のうちに無くなりました。でも、心には、すごい喜びが残りました。いろんな辛い体験をさせている皆さんが、少しでも喜んでくださる時となったわけですから。お昼に会った若い夫婦は結局、現れませんでした。もしかして天使だったのかなと思いました。彼らがきっかけでBさんが物資配給を決断してくれたので...。

抱きしめられたチア・マガジン

皆さんが帰られて、残ったBさんが、「稲葉さん、皆さんは、どういう団体ですか...。なんと言ってお礼の気持ちを表したらいいものか...」と聞いてくれました。クリスチャンの団体で、明泉のトーマスさんの紹介ってことは、十分、知っててくれてますが、いい意味で、さらに聞きたいという感じでした。それで、「学校任せにしないで、親が責任をもって子育てしよう、それを祖父母やまわりで助けていこうって、聖書に基づく教育を応援してる団体なんです。東北にも明泉を始め、メンバー多いので、今回の震災後、全国のクリスチャンの皆さんから、問い合わせや義捐金が寄せられて、その内、明泉の皆さんからも、すごい必要あるから、東京から買ってきて一って言われて。実際、来てみたら、本当にすごいから、聖書が言うように、泣く者と共に泣き、喜ぶ者と共に喜べれば...、って、そんな気持ちだったんです。だから、Bさん、いい機会を、こんな微力な僕らに与えてくれて、とても感謝しています。僕たちがボランティアを始めることになった詳しい経緯は、このチア・マガジンに書いてあります。3月には、東松島、石巻、南相馬とまわらせていただいて。良かったら、差し上げますし、邪魔であれば、持って帰りますが...」「(Bさん) ぜひ、読ませてください。もらっていいですか。それと、稲葉さん、記念に、みんなで写真、撮りましょう！」と言ってくれました。

Bさん、Cさん家族との写真撮影。その時、Bさんは、チア・マガジンを胸の前に掲げ、それを抱きしめるようにして写真に写りました。とにかく、感謝を表したいって気

持ちだったんだろうなーと思います。マガジンを、ぎゅっと抱きしめるようにして、目立つように胸の前において、立っておられたので。ご家族の皆さんの表情もとても明るくなって良かったです。



浸水した家財の処分、泥かきを終えて（石巻）

普通できない交わりー 初対面で押し入れや冷蔵庫の中まで開けてのつきあい

今回の震災を通して、こんなにも心のふれあいができ、すごくいいなと思いました。家の押し入れの中から、冷蔵庫の中から、何もかもすべてをさらけだして、お互いに汗をかきながらの交わりだったので。考えてみれば、東北の漁師さんの家に初対面で、家のすみずみまで中に入って交わるなんて、普通できないことだし、すごいことが起こっているのだなとみんな感謝して帰りました。

途中、腹ペこで、でも石巻は渋滞が続き、車には、4日前、東京から持ってきた、固くなったパンの残りだけ。それを卓さんと分けて食べ、それがまた、格別においしかったです。帰りは、疲れて、僕が運転中、仙台で高速乗り換えを間違えて、1時間ほどロス。東京着は午前4時。仙台から運転の卓さんは、睡魔と戦いながら、安全運転してくれました。

途中、「今度は、若者たちも連れていきたいな」。そんな話で、盛り上がり、第3回の計画が立てられました。まだまだ、いろんな必要があるから、...

ティーンへのメッセージー 限界時のあと1歩ー チア・サポートスクール (CSS) にて

翌週、ミーティングを兼ねて、チア・サポートスクールに向かいました。CSS生たちが、とても明るい雰囲気、「勉強が楽しくなった」「CSSの日が待ち遠しい」「よくわかるようになった」と好評でうれしかったです。

がつんと励みになる話を、少し話してとのリクエストを受けて、以下の話をしました。

「高校時代、僕は、甲子園をめざす野球部にいて、過酷な練習の日々で、灰色の日々だった。1年のうち、休みは、お正月の3日間と夏休み1日、あと、期末試験の

最中とかで、たぶん355日以上は、厳しい練習の毎日。進学校だったけど、野球部は、特別な存在で『野球で好成绩残すことが一番』みたいな雰囲気学校全体にあって、文化祭はもちろん、遠足にも参加しないで練習する日々。当時の広島カーブのエースが、僕たちのマネージャーOGと結婚した関係で、冬にはコーチに来てくれてたんだけど、『ここまで、ハードな練習しているチームは知らないよ。これだけやってたら、必ず甲子園行けるし、必ず勝てるよ!』と励ましてくれていたほどだった。秋の県大会の決勝進出が最高で、甲子園は行けなかったけど。実際、きつくて、当時は辛いだけだった。10年ぐらい前からか、ようやく、心から感謝できるようになった。そのときの監督さんの常套句は、『歯をかめ!』。聞いたことある?」

「(CSS生) なーい」

「『歯をくいしばれ!』はよく聞くと思うけど、そのレベルの先なんだ。限界の時に、あと一歩努力せよ!』ということ。聖書のことばで言うなら、『忍耐の限りを尽くし、自分の十字架を背負って、深みに漕ぎ出せ。努力せよ!』ということかな。その後、学生時代にクリスチャンになって、単なるがんばりではなくて、神様の力と導きをもらいながら努力することを体得していくんだけど、でも、『歯をかめ!』というところに聖書のメッセージとも重なる、神様のために『全力を尽くす』真理に至るポイントが含まれている気もするんだ。

実際、そのことが、本当だなー、役に立ったなーと思ったのは、NHKのディレクター時代。いろいろ取材をして、企画を立て、構成を練ったりと仕事があって、疲れて、『もう、ここで終わり。帰ろうかなー』と思う段階が来る。その時に、「歯をかめ! 限界だと思ったとき、人々の魂のことと思って、あと一歩踏み出すこと」と思い直して神様に祈り、さらに1本、取材の電話をして、取材が一気に進んだり、新しい番組企画が見つかることが、何度もあったんだ。もちろん、文章を書くときとか、夜遅くがんばるよりは、早く寝て、朝すっきりしたときに書いた方がいいと思うから、そこはフレキシブルに聞いてほしいんだけど。あるいは、うつ病の状態、真面目な努力家ながら、身も心も疲れすぎて、がんばろうとしているのに体が動かない、そんな病的な状態の時には、当てはまらないけど。それは、骨折したサッカー選手に、『がんばれ! 走れ、走れ!』と言ってるようなものだからね。そこは、上手に判断しつつ、でも聞いてほしいことがあるんだ。

クリスチャンは甘く見がち?

クリスチャンは、よく『そのままがいいよ。愛されてるよ』って聞かされていると思う。それはその通りなんだけど、それが乱用されて、クリスチャンは、ノンクリスチャンに比べて、努力すべきところを努力しない、甘く見てしまふところもあるかもしれないってことだよ

「(CSS生Aさん) わかる。そういうところ、あるかもしれない」

「(稲葉) それはみんなにだけじゃなくて、今の自分自身にも言い聞かせてることなんだけど。自分の心にも、怠け心や甘さがあるから。そこを神様に悔い改めながら、祈り、言い聞かせていることなんだけど。

映画『炎のランナー』、観たことある人いる？ エリック・リドルという実在した元オリンピック金メダリスト（400メートル）で、後に中国への宣教師となる人物の映画。彼が、陸上でライバルに勝てない時に、コーチが一つ、アドバイスするんだ。ゴールを切るときに、最後の力を振り絞って、精一杯、胸を出してテープを切る。そのことは、僕の人生にも当てはまるなと思う。人生も終わりが大事だから。途中、ダメなときがあっても、イエス様であって許され、新しくされる。後ろを振り返らないで、とにかく前を向いて、限界点に来たときに、もう一歩、歯をかんで、最後の胸を出すことの訓練だよ。実際、自分の力でできないから、悔い改めながら、神様に頼って、聖霊の力でなんだけど。聖書が言うとおりの。「私は、自分はずでに捕らえたなどと考えるはいません。ただ、この一事に励んでいます。すなわち、うしろのものを忘れ、ひたむきに前のものに向かって進み、キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の栄冠を得るために、目標を目ざして一心に走っているのです」（ピリピ3：13、14）。過去はともかく、今からでもできる！ 遅くない。再スタートできる。そこが聖書のすごい真理だと思うよ！」

クリスチャンだけは雇いたくない！－ クリスチャン経営者たちの嘆き

前後して、能登麻里スタッフ、長女の実里さん（19）と話していて、「え、それ、まったく知らなかったー！ ショック！」。堀井卓校長は、「その話は、ぜひ、CSSのティーンたちに伝えてほしい！ がつんとお願いします。実情を知らず、準備できてないまま、実社会に出るクリスチャンが多いと思うので」と、その後、CSSで話すことになったトピックがあります。以下のような話です。

「全国のチャーチ&ホームスクーラー、CSS生のみんなには、実社会で通用するレベルになってほしい。クリスチャン社長の皆さんが、ぜひ、うちに！と言ってくれる、そのレベルになってほしいんだ」（能登麻里スタッフ）クリスチャン社長さんが？」「そう。クリスチャンだけは、雇いたくないなあって、ほぼ全員と言っていいくらい言うでしょ」（能登麻里・実里）えー？ 本当ですか？ 聞いたことない！」「（稲葉）え、聞いたことない？ 立場上、いろんなクリスチャン企業のオーナー社長との交わりが多いけど、ほぼ、全員言うよ。『クリスチャンは口だけは達者で、働かない。そして、文句が多い』『社長や上司は、対等だと思っている。キリストにあって兄弟姉妹だから、それは事実だけど、悪い意味で甘えや気安さがあって、いい意味の恐れがない』『ほかのノンクリスチャンが必死に働いているときに、自分だけ、これから教会の祈禱会ですと言って帰宅する。その分、ほかでカバーして働けばいいけど、それはしない』『ノンクリスチャンは、給与を得るために死にもの狂いだけど、クリスチャンは、人はパンだけで生きるのではない、と、高く構えて、必死に働かない。もちろん、パンだけではないけど、パンも大事でしょう？ ことばはお説教ばく、身で実行しないから、信頼されない』、と、果てしなく嘆きが続くよ。もちろん、例外的に必死に働く、素晴らしいクリスチャンもいる。でも、実際、経営者たちによると、それは極めて少数派。特に、信



能登麻里スタッフ、CSS生を教える

仰に熱心な社長さん方で、とにかく、クリスチャン企業として社会に神様の栄光を現し、貢献していきたいと、クリスチャンをたくさん雇った経営者の方ほど、そのようなコメントが多いと感じたなー。失望体験が重なっているとか、...。もちろん、子育ては奥さん任せ、ひたすら会社人間になろう！ということではないよ。父、夫として責任を担いつつ、でも、教会の中だけでなく、実社会で、勤勉に貢献しつつ、影響を与えていく、...。そんな人材が少なかったという社長さんたちの嘆きかな」（能登麻里・実里）そうなんですかー。それはまったく初耳。信じられない、...」

こんな会話です。全国のチャーチ&ホームスクーラーに気をつけてもらいたいことは、クリスチャン経営者によると、これまでのまわりのクリスチャンの大人や青年たちは、必ずしも良い模範ではないかもしれないという点です。例外的な方はおられるだろうから、吟味する必要はありますけれど。正直言って、これは自分自身への反省も含めて言っています。まず、私たち親たちから、悔い改め、神様の力をもらい、良き模範となれるよう、成長できればと思って、今日も祈る日々です。ぜひ、チャーチ&ホームスクーラーたちが、神様の栄光を現すために、実力を養い、限界を超えるあと一歩を身につけてもらい、聖書の知識だけでなく、実践をもって、実力を養って育ててほしいと祈っています。

2倍働く誠実さ

このテーマは、4月29日の結婚式でさらに、語りかけ

られた気がしました。チア設立当初からのブレインの一人の石黒早苗医師の長男、共人くん（産婦人科医）が結婚することになり、披露宴の司会を頼んでくれました。神様、スケジュールを空けてくださり、祝福のときを共に過ごせ、感謝でした。結婚式場から、披露宴会場までの約1時間のバスの中で、早苗医師が面白いことを話してくれました。「(石黒医師) 僕、思うんだけどね、日本のクリスチャンはね、普通の人の2倍、働かなければだめだな。日本は、99%以上、ノンクリスチャンの社会。だから、そこを突破して福音を伝えていくにはね、2倍働く誠実さをもった、あの人の言うことなら、耳を傾けなくては、..、というところが必要になってくるでしょう」。

石黒早苗医師は、一昨年、天国に召された故石黒妙子産婦人科医らと共に、伝道のピラ配りなどしながら、診療所を立ち上げ、働いてきました。妙子医師は、ひとり8,500人以上の赤ちゃんを取り上げ、また、ご夫妻は、望まぬ妊娠をして、事情のある若い女性たち50人あまりを自宅に住ませ、養子縁組を手伝ったりしながら、子育てや福音伝道、病院経営の業に励んでこられました。埼玉県北本市にある北本福音診療所、南福音診療所の2つの診療所で、多い時にはスタッフ80人あまりを抱え、教会も誕生し、今日に至っています。

「(石黒) でも、多くのクリスチャンを見ているとね、2倍よりも、逆なんだ。うちの病院でも、がっかりさせられるクリスチャンのスタッフたちも多かったよ。もちろん、素晴らしい方もいるけどね。でも、辞めてもらってよかったーと思えるの方が多かったんだ。もし、クリスチャンが日頃、自分より働いてないでね、偉そうにお説教ばかり、自分にしてきたとしたら、そんな福音、聞かないでしょ。逆に、日頃、誠実に、2倍働いている姿を見ていたら、その人生観の証しを聞いてみたいと思うでしょう」

とにかく福音を伝えようと、全力で働き続けてこられた石黒医師ならではのこぼれだーと思いました。もちろん、神様の福音は、私たちの仕事量とは関係なく、神様の計画と導きの中で伝えられていくと思います。また、自分が不十分だからと、それを理由に、今、福音を伝えないということでもありません。ただ、それにしても、聖書でパウロたちが言うごとく、熱心に働く、並行して、福音を伝えていく、その両面が必要であり、その両方を子どもたちに教えていけたらと語られた気がしました。

もちろん、2倍働いて、全員、社長を目指そうということではありません。丸森のチームに、世間では、少し知能に障害があると判別されるであろう、Q兄弟がいます。でも、その兄弟は、みんなから、とても尊敬され、慕われています。それは、Q兄弟が40年あまりの路傍伝道中、心から喜んで、誰よりも熱心にパンフレット配り続けてきたからです。多くの人々は、Q兄弟の笑顔に癒された体験を持ち、尊敬の心をもっています。石黒医師の言う「2倍働く必要！」との真意も、そこにあると思います。チャーチ&ホームスクーラーには、多くの可能性が与えられていると思います。この世の流れに染まらず、これからの新しいクリスチャンたちの姿を創造してくれるようになるのではと、希望を抱いて、祈っています。

ホームスクーラーも浸食する、新しいソーシャル(ネット)ゲーム

最近、ホームスクーラーのRお父さんが、子どもたちが、新しいネットゲームに熱中しているのに気づき、その内容に驚いたと教えてくれました。

アマーバピグというTVでも宣伝しているゲームサイトです。およそ800万人以上の会員で現段階で年商100億円あまりとのこと。

Rさん「知人のホームスクーラー、Sさんのお子さんと、私の子どもたちが、ピグ彼がどうしたこうしたって話してるので、びっくりしました。聞いてみると、バーチャル空間でチャット、ひそひそ話、合コンとか、ナンパ、出会いがあるとのこと。そこで仮想の彼氏ができると、それをピグ彼と呼ぶんだって。そこでは、サイト内で融通できる『お金』を稼ぐことができ、ラスベガス空間に行くと、ギャンブルがどんどんできるシステム」「(稲葉) 入り口は、楽しい若者向けサイト風にして、中に入っていくと、少しずつ訓練されて、性とお金と欲望の世界につかいていくというシステムですね」「(Rさん) そうです。Sさんは、日頃、インターネットとかは、しっかり指導され、制限を設けていて、お父さんがだめといったサイトには、子どもたちがアクセスできないようにしています。アダルト系とか、ギャンブル、バイオレンス系サイトとか。でも、アマーバピグの怖いところは、入り口だけは、お父さんがセットした制限にひっかからないように、『ソーシャルネットワーク系』になっていて、いわゆる交流を図るサイトになっているんですね。最初は無料で、家をリモデルしたり、AKB48のオーディションコーナーがあったり、若者が喜びそうなゲームコーナーがあるんだけど、はまっていくと有料サイトに変わり、そこでは、合コン、出会いがあって、バーチャルマネーを使ってだけど、ギャンブルづけにも、どんどんなっていくシステムなんです。それで、試しに、Rさんと一緒にやってみました。バーチャルなパリの喫茶店に座ると、10秒もしない内に男性のピグが寄ってきて、話しかけてきました。ここで会話が弾めば、バーチャルな恋人関係になって、個人のやり取りも始まって、..、というシステムです。ラスベガスに行くと、スロットマシンやカード、バカラとばくとか、簡単にできます。海外版も製作中で、同様のサイトは様々あります。

「(Rさん) びっくりして、子どもたちをただしてみると、禁止されているサイトではないので、いいかな..、という感じでやってたとのこと。そこには、嘘があるよね。悪いとわかって、隠れてやってたでしょ。これはすぐにやめるべきものだよと諭して、我が家では禁止。Sさんも同様の対応をしたみたいですが。時代はますます巧妙に悪へと加速しているのが怖いですね」「(稲葉) そうですね。ティーンには、まだまだ危ういところあるから。特に男女関係とか、この世の退廃的な風潮とか、..。安心せず、逆に、親がますます、しっかり関わっていく必要がありますよね。強い盾となって守ることと、自分で防御する力を養っていく。そのために日頃のコミュニケーションをしっかりとしておく必要がありますよね」



7月2日の同窓会企画、お祈り下さい。「世界6位のダンス」夫妻も加わる！

1年越しの同窓会プロジェクト 本番へ

1年越しで準備し、皆さんにも祈っていただいていた、僕の高校での同窓会プロジェクト企画ですが、7月2日（土）に本番が迫ってきました。

震災直後の計画停電の期間中に許された、小惑星探査機「はやぶさ」プロジェクトリーダーの川口淳一郎教授（JAXA宇宙科学研究所）の編集も順調に進みました。

励まされた出会いも加えられました。オープニングは、欧米になびき続けていた時代の象徴として「鹿鳴館の社交ダンス」から始まることを考え、同期の中で「社交ダンス選手権世界6位」になったTさんがいるとわかり、アプローチしました。Tさんは、小中高と一緒にの学年ですが、クラスは違い、話すのはたぶん35年ぶりぐらいです。東京でダンススタジオを構え、弘前にはたぶん、戻れないだろうとのことで、撮影に行く段取りをしました。クリスチャンになったお兄さんの影響を受け、高校時代、教会に集っていたことも聞いて、とてもうれしかったです。

撮影当日、パートナーである、ご主人と話しました。僕より、一つ年上で、出身は五所川原市という、太宰治が生まれた市です（「太宰治が、最後にすがったのは、イエス・キリストだったんだ」という直木賞作家の長部日出雄先輩の発見（和辻哲郎賞、朝日新聞・大仏次郎賞）についてのインタビューは1月号のニュースレターでふれました）。あれっと思って、「Uさんって名前、聞いたことありますか？ 五所川原出身で、弘前の教会の友人なのですが」と聞いてみました。Uさん、信仰熱心な友人で、チアのメンバーでもあります。「僕の親友です」とUさん。「え？」「ここにも、何回か、泊まりに来てるよ。クリスチャンになる前、どんなにワイルドだったか知っています」ということでした。五所川原って、それでも人口5万人ぐらいの町だし、親友だなんて、東京で、こんな出会いってあるのかなーと思い、改めて、神様の不思議な御手を思いました。

5月3日には、弘前での全体リハーサルがあり、50名あまりの皆さんが参加してくれました。Tさんも予定を変更して参加、ダンスグループを直接指導してくれたおかげで、リハ全体も、とてもスムーズなオープニングと

なりました。ご主人も許してくださり、Tさんは当日も参加してくれることになりました。7月2日（土）、1年越しで進んできたプロジェクトを通して、出演者（約60名）、当日の出席者（約400名）ほか、皆さんが楽しく、励まされ、希望を得て、神様の栄光が現されるよう、お祈りください。

LA 車2度、ヒットされる！

ボランティアの翌日、1ヶ月ぶりにロサンゼルスに戻りました。ここでは、ジョセフ（2才9ヶ月）と、よく運動公園に行きました。毎日3時間ぐらい。ずいぶん、文章を作って、しゃべるようになったのでびっくり。

フラ－神学校で「Japan祭」が企画され、日本の震災の状況等をレポートするよう依頼いただき、引き受けました。和紀子は、琴の演奏を頼まれ、尺八のジムさんらしいもの3人トリオで向かうことに。打ち合わせの帰り、路駐していた車の窓ガラスがこなごなに砕かれていました。

でも、当日の日本のレポート報告は、皆さん、真剣に聞いてくれて、とてもうれしかったです。何人か、日本でボランティアしたいということで知り合いを紹介させていただきました。

それから3日後、ジョセフとの運動公園からの帰り道、人気のバン屋さんの駐車場から出てきたライトバン、3車線向こうに信号待ちで止まっていた僕の車に気付かず、90度角度で、助手席ドアにぶつかりました。50代ぐらいのドライバーの方は照れ笑いをして、手を挙げて、謝っていました。アメリカでは、保険会社の指導で、事故直後は謝らないように指導を受けています。それで誠実な人だなーと思いました。中央の左折ラインにいた私に、反対車線の駐車場に入るよう、合図がありました。確かに、私たちがいた車線は混んでいたもので、私も同意して、反対車線の駐車場に入って、振り返ると、その車はついてきていませんでした。つまり、逃げていったわけです。誠実そうな謝罪に僕はすっかりだまされてしまいました。一週間に2度も警察と保険屋さんにお世話になることとなりました。先月は、我が家の庭で駐車中にも、車上荒らしがありました。

それでも幸いなことは、ぶつけられた僕もジョセフもけがはまったく無く、守られたということです。それから、誠実そうな謝罪には騙されず、まずは、ナンバープレートを書いて、それから移動という基本動作をしっかりとしようと思いました。そして、神様に感謝！

ページ数の関係で、一度ここで巻頭言を終わります。巻頭言の続きは14ページから始まります。

今後、神様、どう導いてくださるか、神様にますます喜ばれる展開ができるようお祈りください。チア東北サポートも、合同学習会も、サポートスクールも、白馬も、そして、日々の歩みも。皆さんの上にもますますの祝福があることを祈っています。

感謝しつつ

稲葉 寛夫

7/11チア・関東ミニ学習会

ザ・学習/GSセミナー/交わり&バスケットボールスペシャル フリースロー大会 開催！ 入賞者には賞品あり！

**「私を伸ばした勉強法 (by 5人)」に並行して、
＜GrapeSEED導入セミナー＞、＜チア東北サポート報告&祈禱会＞も
同時開催、決定！**

久々の再会のチャンス！ 大震災後のミーティング、キャンセルが続きました。でも、7月の学習会は、半日なので、集まって、祈りあったり、学習したりできればと思っています。今から、スケジュール、入れておいてください(^o^)

日時：7月11日（月） 開場：午前10：00 スタート：午前10：30 終了予定時刻：午後3：30
場所：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京・代々木） センター棟401号室 集合
スケジュール：

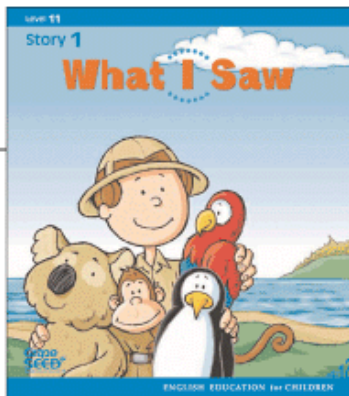
【午前】 **「自学自習」 & 「私を伸ばした勉強法 (by 5人) +交わりタイム」に並行して、
＜GrapeSEED導入セミナー＞、＜チア東北サポート報告&祈禱会＞も同時開催！**

☆久々に自学自習タイム：各自、自由に教材を選び、お持ち下さい。
大好評の宮崎先生への質問もOK！ せっかくなので、それぞれ質問も準備してきてね（何でもOK）。

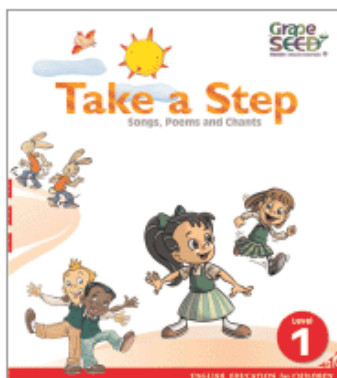
☆5人が見つけた、効果的な学習法！（能登麻里 サポートスクール・スタッフ、桑谷美穂 チア・スタッフ、堀井卓 サポートスクール校長、宮崎聡 チア・サポートスクール主任、稲葉寛夫）



大好評の宮崎聡先生（CSS）主任。
鹿児島ラサール中高・東大卒



レベル1とレベル11同時学習へ！
(CSS)



全国に生中継！（GrapeSEEDセミナー）

3月21日予定で順延となっていました新しい英語教材、第3回GrapeSEED導入セミナーが、いよいよ開催されることとなりました。このセミナーに参加されるとGrapeSEEDを始める条件の「導入セミナーの受講」を修了したことになります。

このセミナーはオンラインで全国に生中継されます。首都圏（東京、神奈川、千葉）以外のチア・メンバーの皆さんには、オンライン参加でも、「導入セミナーの受講」修了が認められることとなりました。事前申し込み、当日セミナーのすべての内容を聞くとの条件はありますが、距離的に、東京での学習会に参加が難しい皆さんへの朗報です。オンラインでの視聴方法等、ぜひ、CSS事務局までお問い合わせ 合わせください。

（担当 堀井卓CSS校長 TEL 03-5300-0820、メール：horiiit@arkvillage.com）

ティーンの皆さんへのグッドニュース！

☆レベル1とレベル11を同時に、学習できることになりました。（併用コースは、チア・サポートスクールのクラスの受講が条件です。ちょっと難易度が高いレベルの同時学習で、ティーンたちのモチベーションもさらにアップできます。受験英語の勉強用にも、一層、効果的です。）

☆全国の皆さんのためのチア・サポートスクール、8月末には、富士登山を兼ねたGrapeSEED合宿も準備中！

（次ページへつづく）

7/11チア・関東ミニ学習会

前ページからの続き <GrapeSEED ティーンは「レベル1&11並行学習OKへ」>

ティーンの皆さんが、母国語並みの英語になるためにも、GSは効果的なカリキュラムです。実用的な英語のコミュニケーション力、発音、ヒアリング力を身につけていくこととなります。大学受験英語の勉強で忙しいと感じている皆さんにも、効果的。英語への抵抗も減り、自信と関心も増え、受験英語の勉強にも力が入るからです。

特に、チア・サポートスクール（CSS）で、GSクラスを受講される皆さんに限っては、レベル1とレベル11を同時進行でできることになりました。

全国の皆さんにも、今後、チア・サポートスクール集中スクーリングコース（8月末は富士登山を兼ねて）等を準備して、英語力の向上等を、みんなで目指していければと思っています。詳細は7月11日、または、チア・サポートスクールまで問い合わせください。GSセミナーは、午前・午後参加の必要があります。（セミナーへのティーンの参加OK！）

【午後】「藤井一朗さんによるストレッチ体操」 & 「バスケットボール・スペシャル！」

最初は藤井一朗さん（九重部屋トレーナー）によるストレッチ体操等を30分ほど行い、約1時間半がバスケットスペシャルです。学生時代、バスケット部で活躍されていたホームスクーラー、辻奈央子さん、桐山壘さんらが、バスケットコーチをしてくれます。



- ☆ ドリブル&フリースローの基礎練習と、ドリブルリレー、ドリブル生き残り大会、フリースロー大会などお楽しみ（入賞者に賞品あり）。
- ☆ 対象者は小学生以上の参加希望者。
- ☆ クラブに参加しない小学生や乳幼児の別途プログラムあり。

参加対象：どなたでも大歓迎です。積極的にご参加ください！

持ち物：体育館シューズ、運動できる服装。親御さんも一緒にどうぞ！

参加費：■大人（中学生以上） 700円+590円（食費実費）+200円（バスケットクラブ活動費）
 ■小学生以下 500円+540円（4歳以上は食費実費）+200円（バスケットクラブ活動費）

※郵便振替、あるいは銀行振込にてお支払いください。

■「郵便振替」：00190-3-35461 チア・にっぽん事務局

■「銀行」：三菱東京UFJ銀行 赤羽駅前支店 普通 1746716 ホームスクーリング・ビジョン（株）

7月11日（月）第13回 関東合同ミニ学習会

参加申込書 ⇒ FAX 03-6862-8648 メール：office@cheajapan.com

ふりがな 代表者ご氏名	（携帯） お電話
ご住所（〒 ）	
参加費 大人（中学生以上）1290円 ×（ ）人 子ども（4歳以上）1040円 ×（ ）人 子ども（3歳以下）500円 ×（ ）人	<input checked="" type="checkbox"/> バスケット 参加希望人数 200円×（ ）名 合計（ ）円
参加者ご氏名&性別&年令	
ふりがな 男・女 歳	男・女 歳
<input type="checkbox"/> GrapeSEED 参加希望	<input type="checkbox"/> GrapeSEED 参加希望
ふりがな 男・女 歳	男・女 歳
<input type="checkbox"/> GrapeSEED 参加希望	<input type="checkbox"/> GrapeSEED 参加希望

巻頭言の
続きです

第三回チア・東北サポートチーム (ボランティア23名) 恵みの中に敢行！ 5月10-13日

第三回チア・東北サポートチームが、神様の祝福と助けのもと元気に戻ってこれました。心地よい疲れと神様と皆さんへの感謝の中に、今、レポートを書いています。「今回も、すごい、よかった！ ハレルヤ！」という感じです。皆様のご支援とお祈りを、改めて、心から感謝します。

今回は、いよいよ、ティーンチームに門戸を開きました。これまで第一回2名（堀井卓サポートスクール校長と私）、第二回4名（2名に加えて、堀井洋二さんと伊左久君）と経験を重ね、今回、初めて23名という規模、ティーンたち、LIT（リーダーズ イン トレーニング）チームや、建築会社社長さん、ホームスクーリングママさんら女性陣も加わりました（シニア代表も1名含む）。特にティーンたちには、いろいろな意味で心を準備し、このすごい機会を通して、これからの人生に最大限、生かしてほしく、事前のセミナーの機会も設け、14名の若者たちが参加してくれました。僕は、今まで被災地で体験してきた思いを伝えました。

「町全体で、お葬式を行っている、悲しみに満ち満ちた、とてもセンシティブなところに何うようなことなんだ。もちろん、みんなワンワン泣いてるわけではない。穏やかで、気丈に、静かなほほえみがあるよ。でも、その表情の下にある悲しみ、ショック、不安、恐れは、感情的にも霊的にも、とても深い痛みと圧迫の中にあるよ。深くやけどしたような状況のところに、何か、助けになることをさせていただきたい、寄り添いたいとの思いで行くんだけど、実際は寄り添えない。ただ、少しだけ、共にいさせてください、というか。謙虚でやさしい、思いやりと敬意をもった姿勢が必要だよ」。

奥ゆかしさ

5月9日は、慶応大学VPクラブの皆さんが、早稲田大学VIPの皆さんと合同で、柴橋正直衆議院議員や、カネボウ薬品元会長の三谷康人さんと共に、講演会に招いてくださいました。経済学部長さんや、クリスチャンではない学生さんとか、大勢来てくださり、ストレートな福音を分かち合うことができ、とてもうれしかったです。

そこで出会った、10回ぐらい支援に行ってるという若い伝道師の人が、講演前に僕に話しかけてきました。「東北の人って、外の人に心開かないっていうか、外からの人を拒むところあるんですよ」（稲葉）僕は、出身が弘前だから、わかる気がするんだけど、そうじゃないんだよ。すごい必要あるんだけど、ボランティア頼むことに遠慮してるっていうか、申し訳ないっていう気持ち、とても素朴で、奥ゆかしいところあるんだよ。たぶん、関西の方なら、これが必要。頼むで！って明るくスバツと言うところが言えないんだと思うよ」（伝道師さん）



そうでしたか。すみません」「（稲葉）大丈夫だよ。文化の違いってあるから。僕でも、時々、わからなくなることもあるから。たとえば、今回、釜石の方と、石巻の方と、それぞれ2回目のボランティアに行くんだけど、3-4回、電話する必要があったんだ。先方は、ただただ、申し訳ないから、って何度も言うので、もしかして、僕たち、おせっかいかなー、本当は必要ないのかなーと思いかけてくる。でも、少し忍耐して、慎みつつ、様子うかがっていると、『それでは、お世話になっていいでしょうか、...』って、話が開けてくる。だから、少し、忍耐と理解と謙遜さと積極性が必要なんだよ」（伝道師さん）そうだったんですね。とてもよくわかりました」（稲葉）10回も行ってきて感謝だし、そのパッションにさらに理解と謙遜を加えて、続けてトライしてくださいね」

そして出かけた第三回チア東北サポートは、若手LITを中心に、23名の皆さんと共に、すごい感動の中で帰ってこれました。

特権

いよいよ、第4回チア・東北サポートが近づいています。ホームスクーラーのVさんからコメントをいただきました。

「ティーンの子たちが、この時期にこんな尊い経験をさせていただいているなんて、なんというすばらしい特権かと思います」

僕もそう思います。いろんなことを考え、このような時にどう行動し、どう人と接するのか、神様からのメッセージをどうとらえるのか、...。世界中の人々が経験したくてもできない経験を、実体験してるんだと思います。僕も、準備の買い出しをしたり、電話対応したり、実際に行かせてもらう度に、すごい体験をさせてもらっているなーと思って、心から感謝しています。また、そのよ

うなことをチアやチア・サポートスクールに今、神様が許してくださっていることの意味と使命を考えたりしています。

正直言って、前回の3回目は、一緒に行く人数も多かったし、被災地の人々との準備もとてもセンシティブだったし、終わってからの心と体と霊的な疲れも大きかった気もします。最初の2回目は、とても深い喜びのみという感じだったので。しかし、その分、収穫も、より大きかったかなと思っています。

先週、釜石の町内会長さんのFさんから、ロサンゼルスまで電話が来ました。「町内の皆さんが、すごく喜んでます。励まされたって。直接被害の方、二次被害の方(船や会社が流されたり、仕事を失ったり経済的な被害とか)、あるいは避難所から仮設住宅に移ってからとか、必要はますます増えているようです。次回も来てもらえれば、助かります。あとは、6月14日にどんなボランティアが必要となっているか、そのタイミングだけだと思います。稲葉さんが、来日される7日あたりにまた、具体的に詰めましょう」という、とてもうれしい電話でした。「物資を持ってきたのですが、…」と飛び込みで、玄関に立ってたおばちゃんに話しかけて、そこから広がった関係、町内放送かけてもらって物資の支給が始まり、町内会長さんが紹介され、今回は、その町内会長さんに、物資配布と、ボランティアのセッティングしてもらって。物資の支給の前に集まった60人あまりの皆さんの前で、「どうぞ、何か、話してください」って、紹介もしてくれた。そして、ロスまで電話かけてもらうなんて。そんな、きずなが与えられるって、すごいことだなーと思っています。

その数日後、今度は、石巻のT水産のBさんから、電話が来ました。「被害があって、ボランティアの必要が一番あるところをと思って、探してました。今、S浜ってところに来てますが、そこはマスコミの人など、誰一人来てない場所です。そのような場所でもいいですか」

「もちろんです。Bさんご存じのとおり、チアの場合は、誰も行ってないところに行きたいというのが願いですから。マスコミやほかの人々が目もくれないようなところほど、喜んでいきます。今回、25人ぐらいで行きますね」

「そうですか。今、S浜の港は壊れてしまって、網やら、がれきやらで大変らしい。当日、どういう仕事になるかわからないけど、何かやってもらえるなら、とてもうれしいとのことだけど、いいですか」

「もちろんです。何か物資も持っていったらと思いますが、S浜さんの皆さんに、今、何があったらうれしいか、必要を聞いてもらえますか」

「わかりました。いったん、電話切りますね」

約15分後、再び、Bさんからロサンゼルスへ電話。「稲葉さん、漁師の皆さんに聞いてみました。網を切る鎌みたいなものですね。あとは長靴。そして、許されれば、肉、野菜とかあれば、ということでした」

「(稲葉)わかりました。準備します」

「(Bさん) それでは、まず、石巻の我が家まで来てください。そこから久慈のS浜は、1時間ぐらいです。あと、おやじと代わります」

「(Cさん) 本当にいろいろとありがとうございました」

「(稲葉) こちらこそ、不十分だったと思います。また、若者たちにいい勉強の機会を与えてくださってありがとうございました。Cさんから声かけてもらったって、ずいぶん、みんな励まされていました。これからもよろしくお願いします」

「(Cさん) こちらこそ、お願いします」



腐った魚と原油と汚泥のにおいにすっかり慣れた！(第3回チア・東北サポート石巻にて)

第5回 チア・東北サポート ボランティア募集 ヘド口掃除、濡れた重い豊ほか、たくさんの必要が待ってます！

- 【期間】 8月中旬予定 <受付開始日>近日中。チアのHPで発表しますのでチェック下さい (www.cheajapan.com)。
- 【場所】 石巻、大船渡、釜石、若林等
- 【宿泊場所】 未定。バスの可能性もあります
- 【作業】 民家、工場の掃除、廃棄物撤去、支援物資の配給
- 【定員】 23名 (※定員になりましたら、次回のウェイティング・リストに登録させていただきます)
- 【参加資格】 参加は原則、高校生以上。どなたでも大歓迎！ ただし、定員の関係で、LITを誠実・従順な姿勢で体験された皆さん、チア・サポートスクール生の皆さん、優先です。これまでの参加者の皆さんの再応募も歓迎します。作業等に慣れた皆さんは、被災者の人々への貢献度が高くなると思うからです。でも、基本的にオープン企画ですので、初めてでも、ぜひ、お申込みください。大人(女性、高齢者OK)の皆さんの申し込みも、大歓迎です。ある程度、大人の参加者も必要です(参加希望者が多い場合は、チア・メンバーの皆さん、優先です)。こぞってお申込みください。

第3回 チア・東北サポート レポート Part1

Aさん (16)

東日本大震災が起きてから私はボランティアに行きたいと思っていました。なぜかという次の2つのみことばが与えられたからです。

「喜ぶ者といっしょによろこび、泣く者といっしょに泣きなさい。」(ローマ12:15)と「あなたがたもまた互いに足を洗い合うべきです。」(ヨハネ13:14後半)です。

この2つのみことばを実行したいと思い被災地へ行きました。

まず被災地を見て思ったのはあまりにも悲惨だということです。その場所に人が住んでいたとは想像もつきません。本当に言葉を失ってしまうほどでした。その場所に初めて来た私がそう思うのですから、その場所に元から住んでおられた方はなおさら悲しみが大きいと思います。家族がいない、家がない、将来見通しもつかないという状況の中におられる方を思うと天に希望のない方にとってはなんと絶望的な気持ちなのだろうと思いました。



陸前高田市 がれきの山の前で、
この山を思う...



水産加工場のヘドロかき

次に感じたことは、3日目に津波の被害にあわれた高橋さんのお宅でヘドロ掃除をしたときのことで。私はヘドロ掃除を始める前に正直汚くて嫌だなと少し思ってしまいました。でも神様が力を与えてくださり、その時に人に仕える事は「自分のいのちを自分のものとした者はそれを失い、わたしのために自分のいのちを失ったものは、それを自分のものとします。」(マタイ30:39)ということがわかりました。そして本当の意味で仕える事が出来たと思います。それからはヘドロが体についてもだんだん気にならなくなりました。

神様が地震を起こした意味の1つは私のためでもあったと思います。同情すること、仕えること、出来なかったこと、悔い改める事がたくさんありました。そしてそのことが少しでも出来るようになるために地震を通して私に教えてくださったのだと思いました。

被災された方、また、この地震を通して救われる方が起こされますようにこれからも祈っていきたいと思います。そしてその救われた方が神様の愛に満たされて心から笑うその笑顔が見たいと、このボランティアを通して強く思われました。

Bさん (16) 「行って来たよ！」

4日間かけて、陸前高田・大船渡・仙台・釜石・石

巻・名取を回りました。約24人でマイクロバス、物資を載せたトラック一台で行きました。

5/10。初日。出発してから宮城県仙台市若林区にある国際飢餓機構へ行き、追加の物資を調達。そして陸前高田へ。

瓦礫の山々。人の住処だったとは思えなかった。家は、無い。目に付くのはその土台だけ。

建物の鉄筋。グニャリと曲がり、まるでジェットコースターのレールの様。建築物の形をしていなかった。

地面には幾つもの大きな裂け目。とても平地とはいえない。陥没し、海に埋もれた道路の先。どこまでが地上だったのか分からない。

数百メートル先に海から顔を出している小さな建物。人が住んでたのかな。

皮肉にも心地の良い海風だった。寒かった。

バスに乗り込み、大船渡の港へ。堤防を乗り越え、海を見た。横倒しになった、階段の手すり。すぐ側にヨーカドーの様な、大きなショッピングセンター。

買い物カート。散乱していた。キャスターに砂が詰まっているのか、動かない。

天井から垂れ下がった幾つもの電線。まだ電気が通っているものもあった。あやうく触る所だった。グチャグチャ。それだけ。どこが店なのか通路なのか、見分けがつかない。非常階段の扉も歪み、ピクともしない。

ここが地震直前まで、人々が買い物をしていた場所。

想像したくなかった。

暗かった。

駐車場。車がボールの様に潰れていた。下半身と腕だけのマネキン。洋服売り場の物だろう。暗かった。

「何で？」

ひたすら考える。

「何で神様はこんな事をする必要があったの？」

「何で大勢の命を取り去る必要があったの？」

「神様は何が言いたいの？」

「神様は何がしたいの？」

大船渡の教会に一泊だけ泊めてもらった。こんな大人数を受け入れてくれた事に感謝。明日はこの教会の庭園を掃除する。

5/11。二日目。全員、ゴム手袋と長靴を装備し、庭園の泥かき。流されて来て、土の上に被さったヘドロをスコップですくい、ゴミ袋の中へ。1時間弱かけて終わり。こっちに来て初めての奉仕。感謝。

教会の人に感謝と別れを告げ、釜石市へ。とある一角で物資を配る。色んな地元の人が集まってきた。何故か、何も感じられなかった。ただ配った。

分かっているのは、目の前の人が必要としている事だけだった。

配り終えた後、場所を移し倉庫の様なテントで泥だらけになった皿を洗う。車4台分の洗い物。様々なものがあった。人の思い出の品を自分達が手に持っている事が悔しかった。

4時間あまり皿洗いをする。

でも、楽しんで出来た。仕えることを楽しめた。

5/12。三日目。国際飢餓機構で物資を追加補給し、石巻市へ。

また、配る。今回はそれぞれが、被災地の人が必要だと思う物を3-5点選び、持って行った。東京からの物資も含め、ほぼ全部無くなった。良かった。

この人たちに本当に必要なのは神様だと、心の隅で思っていた。

バスで移動中、怖れか動揺か分からない感情が出てきた。不謹慎かもしれないが、被災地の何処に行ってもそれほど各被災地の景色は変わらない。瓦礫、崩れそうな建物、ポロポロの車。

初めて見たときは、驚いた。言葉に出来なかった。が、二日目三日目になると、その景色に慣れてしまう。それが怖くなった。

「もしかして、仕えに来ているということのを心の何処かで軽んじているのではないか」

バスの中で会話を楽しんでいる自分。外はまるで違う世界なのに…。

物資を配った場所のすぐ側に住んでいるTさんのお宅を掃除させてもらった。こんぶとひじきの水産加工場ということで、井戸みたいな穴にヘドロがどっさり。それを掻き出す作業。家の床下のヘドロを剥がす作業。

一つ一つ行っているうち、楽しく心から喜んでいる自分がいた。趣旨を忘れてさえもいた。目の前にある仕事を忠実に行う事。それを心から喜ぶ。仕えるというのはそういう事なのかもしれない。

色々葛藤はあったけど、神様が俺を少し変えてくれた気がします。どこが変わったのかは具体的にはわかんないけど…。

一つ確かなのは、帰り道、俺は心から笑って帰ったということ。神様に与えられた喜びがあったという事。



大船渡 朝6時30分 泥かきスタート！
(朝食前の土のう袋、約50袋)



石巻の休憩時間。ヘドロで汚れた手とカッパ（5月22日）

Cさん（16）

私は被災地に行く前テレビなどの報道を見たとき、きつと大げさに流しているのだろうと思っていました。津波が来たり、家が壊れているのはほんの一部だと思っていました。しかし、実際行ってみるとそこはどこもかしこもがれきの山でした。車がグチャグチャになって逆さになっていたり、家の中にトレーラートラックが突っ込んでいたりしていました。しかもそれは1つや2つではなくて、至る所で見る事が出来ました。

2日目の朝、前の晩に泊めてもらった教会の庭の掃除をしました。最初は、臭いし泥が自分に付くのが嫌でちまみ袋を麻袋に入れていました。でも、それでは効率が悪いので汚れるのをあきらめてヘドロを掘り、入れて運ぶという作業をしました。ヘドロの中には、魚や辞書の切れ端など色々なものが混じっていました。私たちが少しきれいにした庭を見たその教会の牧師さんはすごく嬉しそうでした。

その日の昼ごろからは、ボランティアセンターで大量の食器洗いをしました。色々な高級品がたくさんあって、これを持っている人がきれいになったのを喜んでくれたらいいなと思ったり、無事に過ごしているのかと思ひながら、洗いました。全部洗い終わったとき、家の食器洗いがほんの少しに思えました。

3日目はまず物資を配りに行きました。野菜はニラとピーマンとキャベツしかなかったのに、現地の人々はすごく喜んで調理法までいろいろと教えてくれました。1人の小さい子がお菓子を探していて、稲葉さんが渡したら恥ずかしそうに笑っていました。

この日の午後はこのtripの中で一番泥だらけになりました。この日が最後の作業だったので気にせず泥だらけになりました。まず、床などの板と水を吸った断熱材を一輪車に乗せて隣の家の敷地に捨てました。その後、土鍋のような素材でできた五右衛門風呂みたいなものに入ってヘドロをとる作業をしました。最初は、臭くて足もヘドロにはまるしで嫌だったのですが、友達2人とやっていたのでだんだん楽しくなって、なんかこの五右衛門ぶろ落ち着くねと言っていました。その窯を持っているおじいさんが適当でいいよと言っていたのですが、私たちは最後までやりたかったので、底が見えるまで頑張ったらおじいさんが、おお、こんなに奇麗にしてくれたかい、と言って喜んでくれました。その後は、泥だらけの洋服と前の日の4分の1ほどの食器を4人で洗いました。寒かったけどその家の人が喜んでくれたのでよかったです。

4日目は若林地区に行きました。畑には砂浜の砂が積もっていて、大木がごろごろしていました。何かできないかと思ってみんなで持って行った食料を袋に入れて渡しました。私たちがバスから出るとその地区の住民の人々が若いのがこんなにいたのかいと言って驚いていました。もし時間があつたらそこでも作業がしたかったです。

今回のtripで学んだことは、報道などではなくて自分の目で見る事の大切さです。それと、人間がこの世でどんなにすごいものをつくっても結局はみな元素の生成物で、いつかは無くなってしまふ、しかし、天の神、主だけはいつまでも変わらないという事です。また機会があれば行きたいと思います。

参加者Eさんのお母さん、Fさんより

この度は、本当にお世話になりました。心から感謝しています。

帰りの車中はずっと、写真を見たりしながら、いろんな話を聞きました。仕えるということ、模範を示して教えてくださり、また任せてもらったことで学んだことも、本当に大きかったと思います。

被災地の現実を見て、触れて、言葉にすることができないほどの想いが与えられたようでした。「もっともっと働けばよかった」と後悔する言葉もありました。



ヘドロ出し 第4段階 かなりたまってきた！

私もまだ、娘が受けてきた恵みを、どのように言葉にすればよいかわかりません。そしてどのように感謝を表せばよいかも、今はよくわかりません。

写真を一枚一枚見ながら、たくさんのことを考えさせられました。

本人は、「また、今回お会いした方々の所に行きたい」と、言っています。

家族あげて、益々祈っていきたいと思います。

それから、今回初めて、チアのオフィスに行くことができたことも、感謝でした。あの場所で、働いてくださっていること、イメージしながらお祈りできることが嬉しいです。

2つ並んだ時計を見て、稲葉さんご家族が捧げてくださっている犠牲の大きさを、今まで以上に実感しました。

どう言ってよいか、わかりません。

昨年の白馬セミナーでは、ティーンの時期のホームスクーリングについて、初めにホームスクーリングを示されたときと同じ召しをいただいて、本当に大きなステップでした。

神様を愛する思いと熱心さは充分あっても、まだまだ無防備なこの時期、益々真剣に向き合っていきたいと思われています。

チアのお働きのために、心からお祈りしています。

なかなかお休みも取れない中、お身体がささえられますよう、祈っています。少しでも休むことができるといいな！と思います。

心からの感謝をこめて

Gさん (16)

東日本大震災で被災された方のために、私にもなにかができることがないかと思い祈っていたところ、チアのボランティアに神さまが導いてくださり、参加させていただくことになりました。

田んぼに散乱している車や瓦礫に山、なんともいえない臭い、そして根元から折れた太い木など…。本当に悲惨な光景が広がっていました。

被災地では、救援物資の配給や、Tさん宅のヘドロの除

去作業、そして大量のお皿洗いなど、たくさんの奉仕をさせていただきました。物資の配給の際に地元の方々が取り合いや奪い合いをせず、むしろ遠慮しつつ譲り合っていて、とても謙虚な態度だったのが印象に残っています。

どうして神さまはこの地震を起こされたのかと考えるときに、答えは神さまにしか分からないけれど、被災された方々がこの地震を通して、イエスさまを信じ、救われてほしいと心から思いました。

このボランティアに参加できたこと、そして多くの奉仕ができたことを神さまに感謝します。

Hさん (14)

「東北ボランティアレポート」

参加させていただいた理由は、被災地をインターネットやラジオだけでなく自分の目で確かめ、自分も被災された方々に何かしたいと思ったからだ。

まず1日目、被災地を見に行った。道路がずれ、線路がねじ曲がり、本当にこれは元にもどるのだろうか。。と思うほど酷かった。

2日目、市のボランティアに参加させていただいた。5時間近く皆(23人)で頑張っても洗い終わらないほどの大量の食器、でも最終的には洗い終わった。

疲れたけど気持ちはスッキリとして嬉しかった。

3日目、Tさんのお宅を皆で掃除。いつも家でやる掃除と全く違う。池や床下にたまった大量の泥やヘドロをひたすらかき出す作業。

ここではニュースでは分からなかった臭いや被災した方々の気持ちを全部ではないが少し分かったような気がした。

掃除をしてると、自分はあまり役にたっていないような気がした。でも、Tさんのおじいちゃんと一緒に掃除をしている時、「ありがとう」と言われて「あっ、自分も少し役にたつのかなあ」と思って嬉しかった。

掃除をし終わって、バスに乗って宿泊してるところに帰るときセブイレブンによった。みんなヘドロまみれでお店に入ったので店員さんは一瞬いやな顔をした。

女子高生たちが「うわあ！ くっさ〜」と言ってたけど、なぜか嬉しかった。臭い臭いと言われれば言われるほど褒められてるみたいだった。

4日目、東京に戻る

今回のボランティアに参加させていただいて感じたこと思ったこと。まとめ。

人の作ったもの、目に見えるものはいつかなくなってしまうんだな。もし、自分がイエス様の愛を知らなくて被災者のひとりだったら、自分の生きる目的がわかんなくなってしまうたと思う。できるだけ多くの人に神様の愛を伝えることができますように。。



ヘドロ、目に入った(>_<)

チア・サポートスクール (CSS) 開校して45日

CSS 生たちの声より

Q1. CSSに通うようになって、どんな思いですか？

- ◎計算が得意になってきた。(A君 10才)
- ◎勉強が楽しくなってきました。(B君 12才)
- ◎3月まで不安がありました、通うようになってとても火曜日を楽しみにしています。また、勉強がとてもわかりやすいです。(C君 12才)
- ◎分からないところが分かるようになったと思う。(D君 13才)
- ◎とても楽しんでます。(E君 13才)
- ◎勉強が効率よくできるようになった。(F君 15才)
- ◎確実に学力は上がったと思う。後は自分のモチベーションをUPさせたい(笑)。(G君 16才)
- ◎勉強がんばろうと思いましたっ！(Hさん 16才)
- ◎すばらしい神様の恵みを感じます。(I君 15才)
- ◎算数の問題がすぐとけるようになった！毎週木曜日に来るのを楽しみに待ってます。(Jさん 10才)
- ◎とっても楽しいので、木曜が楽しみになりました。(Kさん 9才)
- ◎同じ年の子とじゃなくて、いろんな学年の子と交流できてうれしいです。(Lさん 12才)
- ◎ホームスクールは家で勉強するから、友達と一緒に勉強できてうれしいです。(Mさん 14才)
- ◎勉強がよく分かって、勉強するのが楽しくなりました。(Nさん 14才)
- ◎楽しいです。(Oさん 14才)



Q2. 良いと思う授業、科目は何ですか？ それはどうしてですか？

- ◎算数 ここでやるとおもしろいから (A君 10才)
- ◎算数です (算数しかまだはじめていないからです) あと、分かち合いもいいです！ (授業ではありませんが) (B君 12才)
- ◎数学です 家では分からないことも先生がわかりやすく教えてくれるからです。(C君 12才)
- ◎数学 家より少しだけ進んでいるので、分かりやすくなる。(D君 13才)
- ◎英語と数学 英語はHSの友達と出来るので、とても楽しく勉強でき、数学は焦らず自分のペースで出来るのがよいと思う。(E君 13才)
- ◎数学 わかりやすい (F君 15才)
- ◎英語 得意ではないけど、今まで感覚英語だった分、楽

チア・サポートスクール (CSS) 開校して45日

CSS生たちの声より

しく出来ている。(G君 16才)

◎まだ、2教科だけしか教えてもらってないですが、数学とか、すごい分かりやすいです。(Hさん 16才)

◎理科 とても説明が分かりやすいから。(I君 15才)

◎算数 (Jさん 10才)

◎算数 学校の先生より、分かりやすく教えてくれるから!! (Kさん 9才)

◎グレープシードクラスが楽しいです。あと、国語がけっこう好きです。得意科目だから…。(Lさん 12才)

◎算数しかやってないので…。(Mさん 14才)

◎数学 (まだ、それしかやっていません) (Nさん 14才)

◎数学 (Oさん 14才)



CSS女子部のランチタイムはとても楽しい!

Q3. 現在のグレープシードのクラスはいかがですか?

◎楽しいです! 最高です! 言葉はおたがいまだ通じませんが、そのほうが楽しいし、おもしろいです。(A君 12才)

◎楽しく来て、会話するのでよいと思う。(B君 13才)

◎Daleさんがクリスチャンなので色々話しやすい。(C君 14才)

◎すごく楽しい!(Dさん 10才)

◎デール先生が、おもしろい事をいっぱいしたり、ゲームをしたりするから、遊びみたいで、面白いです!(Eさん 9才)

◎遊んでいるような感じで英語が覚えられるので楽しいです(メンバーが楽しいってこともあるかもしれないけれど…。)(Fさん 12才)

◎めちゃめちゃたのしいです。(Gさん 14才)

◎先生がとってもおもしろくて楽しいです。(Hさん 14才)

◎いいです。(Iさん 14才)



→水曜クラス(4/27)、この日、稲葉さんと桑谷スタッフが応援に!



チア・サポートスクール

☆ 開校2カ月め! ☆

- ◆チャーチ&ホームスクーラー、ホームスクーリング・マインドの子どもたちの助け。
- ◆学力、実力、資格取得、チャーチ&ホームスクーリングライフのサポート。
- ◆聖書をベースにして、魂の救い、キリストの弟子の心を与える、伝道・世界宣教の目的達成への学業・実技面からのヘルプ。

授業時間枠が拡がりました! 遠距離の皆さんのご要望にお応えしました!

- 一般科目 9時30分~12時45分 ※授業は1コマ45分。
- 英語(GS) 9時30分~15時 ※ご希望の曜日・時間をお選びください(現在、火~木の午前
に4セッションを予定しています)。

♪ 早期申し込み(第二弾8/31まで)授業料ディスカウント、♪ チャンスを、お見逃しなく!

授業料はできるだけ安く設定しますが、**8月31日まで**2期生授業料、**9月1日以降**、通常授業料...と授業料に若干、差を出さざるを得ません。それで早期ディスカウントのご利用をお勧めします。兄弟割引、2限め、3限め以降の割引(スライド制)や英語(GS)と一般科目の授業料の違いなどあります。詳細は、CSS事務局に遠慮なく、お問い合わせ、また、資料をご請求ください。

現在、「個人面接」受付中!

面接、始まりました。ご希望の方は、下記にご連絡ください(随時受付)。皆さんのご意見、ご要望、具体的な時間割を作成しています。

- 面接内容**
- チア・サポートスクールへのご質問、体験クラス
 - お子さまの将来のビジョンに向けたカリキュラムの作成

面接は、無料ですので、お気軽にご連絡ください。

チア・サポートスクールは、ホームスクーラーのサポートを目的としていますので、通学されなくてもご相談だけでも、大丈夫です(※電話やメール、スカイプでもご相談をお受けいたします)。

チア・サポートスクール本校所在地：東京都世田谷区赤堤4-41-5
京王線 下高井戸駅 徒歩2分

各申込書

(FAX 03-5300-0872) www.cheajapan.com

GrapeSEEDの資料希望(無料)

チア・サポートスクールの資料希望(無料)

お名前 _____

ご住所 〒 _____

TEL _____ FAX _____ e-mail _____

お問い合わせはメールかお電話で。

e-mail : horiit@arkvillage.com TEL 03-5300-0820 担当：堀井卓まで



今年は白馬に集まりましょう！ どなたでも大歓迎！

- ◆家族のきずなの回復。そして、教育の原点、聖書に立ちかえる体験
- ◆北欧調リゾートホテルで100種類のバイキング
- ◆11種の温泉
- ◆徹底学習（約50の基調講演・分科会）
- ◆家族・教育の目的、情報、励ましとチャレンジが与えられる！
- ◆家族・チャーチスクール・仲間との一生の思い出！

**基調講演者は、エリザベス・スミス (Elizabeth Smith)
HSLDA (ホームスクーリング法律擁護協会) 代表夫人に決定！**

4年越しのアプローチ、実る！

エリザベス・スミスさんは、マイク・スミスHSLDA代表夫人として、300万人あまりに拡がり続ける、全米のホームスクーリング・ムーブメントを支えてきました。まだ、ホームスクーラーがほとんどいなかった1981年から1996年、末の子どもさんが大学に入学するまで、4人の子どものうち、3人をホームスクーリングしました。25年に亘って、全米各地でのコンベンション、教育セミナーの講師として活躍。また、長年、ホームスクーリング財団の代表や、「とりなしの祈りミニストーリー」の理事としても仕えてきました。「アフリカ系アメリカ人ホームスクーリングの会」創設メンバー、そして、「家族」を守るために首都ワシントンD.C.の上下院議員らとの深い絆を持ち、全米ホームスクーリング機構のために労してもいます。



「講演予定」

- 「バランスのとれた家庭・夫婦、そしてホームスクーリング — 夫と妻への10のヒント&妻が夫に知ってほしい、ホームスクーリングのポイント」"Balancing Home, Marriage, and Homeschooling"
- 「危機（ストレス）管理と結婚生活を長い目で成功させるために」
"Crisis Management and Marriage for the Long Term",
- 「ホームスクーリング成功への5つの秘訣」 "Five Essential Ingredients to Successful Homeschooling"
- 「子どもたちの魂を訓練する秘訣」 "Training the Soul of a Child"
- 「ティーンをホームスクーリングすべき10の理由」 "Ten Reasons to Homeschool Teens"

Elizabeth Smith, wife of Home School Legal Defense Association President Mike Smith, taught three of her four children at home from 1981 to 1996, when the youngest entered college. For over 25 years, Elizabeth's practical wisdom has encouraged audiences at homeschool conferences, symposiums, and women's retreats throughout the United States. Elizabeth serves on the board of directors of Breakthrough Intercessors Prayer Ministry. Elizabeth has lobbied on pro-family issues in her state capitol and in Washington, D.C., for the National Center for Home Education since 1993.

<http://www.hslda.org/speakers>

第5回 「グランプリ！大会」開催！

◆◆ 参加者 受付スタート！！ ◆◆

自作のレースカーで競い合うグランプリ大会を、白馬セミナーで開催します!! 白馬でも、レースカーキットを実費販売しますので、2日目の夜までに完成させての参加もOKです(500円)。参加資格は、今年度制作のレースカーです。

昨年に引き続き、今回も「スピード部門」「美術部門」の2部門で競います。「美術部門」コンテストの郵送受付は11月10日まで。郵送先はチア事務局へ(白馬参加の皆様はご持参ください)。

作品は白馬セミナーで展示し、優秀作品は表彰させていただく予定です。チアのファミリーを励ましたいという、ある有志の方の提供により、グランプリ大会参加者には豪華賞品あり。また、あるボランティアのご家族が、グランプリ特設コースを製作してくれました。

レースカーキットは、誰でも作れます。形や色も工夫できます。車軸は差し込むだけなので、トンカチ必要なし。お母さんや小さい子どもたちでもできる楽々セットです。気軽に、こぞってご参加ください! 工作・技術の向上はもちろん、素晴らしい家族の思い出にもなりますよ!

現在、キット(500円)の予約申込を受付中です。ご希望の方は、お名前、ご住所、お電話番号、希望個数を明記の上、メール(office@cheajapan.com)、またはFAX(03-6862-8648)でお申込みください。

〈 NL2011年1月号巻頭言より 〉 白馬のカーレースとか、忘れられないくらい、すごく盛り上がり、感動しました。あるティーンの参加者は、二日くらい、ほとんど寝ない感じで、デザインを作成したとか(白馬でデザイン部門優勝でした)。ある親子はスピードを出すために、工夫に工夫を重ね、テストランしてやってきたとか、ある家族は、いろんなオイルを試して、最後はマーガリンが一番早いと発見したとか...。各車の聖句入りデザインもすごかったです。ある方が白馬で、「感想文大会、絵画大会、カーレースグランプリとチアがやってくれることは、素晴らしいと思います! 目標と大きな励まし、貴重な機会になっています」と心から感謝してくれました。別の方も、「これ、素晴らしいね! このようなことは、本当に大事だと思う」とのこと。グランプリ、こぞって参加ください。

* 第2回 チア・にっぽん杯 * 絵画コンクール

白馬セミナー会場で表彰式&展覧会 入賞者には賞状・賞品あり!

昨年、初の試みとして開催した絵画コンクールには、見る者の胸を打つ感動の力作が多数寄せられ、大変好評で、コンベンション、サマーキャンプ、白馬セミナー、チア・マガジン&HPらで、展示、掲載されました。その第2回目です!

今年も作品のテーマは「聖書」。聖書のどの場面でもOKですので、自由に想像をふくらませて絵画に描いてみてください。表彰・展覧会は、白馬セミナー会場です。入賞者には、チアからの賞状とチア・メンバーからの賞品あり! どなたでも大歓迎です! お待ちしています!

<応募要項>

■**テーマ**: 聖書のストーリーから題材を取り、自分のイメージを絵画にしてください。

■**部門**: (1) 小学生の部 (2) 中高生の部 (3) 一般の部

■**作品のサイズ**: 自由(画材は油彩、水彩、クレヨン、ペン画ほか自由です)

※【下記の項目を作品の裏にご記入頂き、ご応募下さい】

氏名(フリガナ)、住所、学年、年齢、性別、電話番号、絵のタイトル、その絵を描いた理由(100字以内自由)

■**応募締切**: 11月1日(火)

■**送り先**: 〒189-0013 東京都東村山市栄町1-5-4-103 チア・にっぽん事務局 「絵画コンクール」係

第5回チア・にっぽん杯 入賞作品

小学生の部 チア・にっぽん最優秀賞

「見よ。神様は力強いお方である！」

六年 月城 真美

私は、「ヤムイモのもんだい」という本を読みました。私がこの本を読んで、一番すばらしいと思ったことは、クリのお父さんの姿です。

クリのお父さんは、いつもは先祖たちの霊に祈ってから、ヤムイモを植えていました。しかし、お父さんは宣教師たちが教えている、神様のお名前によって、ヤムイモを植えたのです。

クリは毎日毎日、ヤムイモがどうなっているかを見に行きました。芽が出たとき、お父さんはそれを見て、神様に心から感謝しました。しかし、村の長老のサコソという人が、いつも、お父さんに言いました。「ヤムイモを、先祖たちの霊に祈って植えなかったので、必ず罰を受け、あとで後悔するぞ。たとえ芽が出ても、すぐにかれてしまうぞ。」私は、サコソがこのように言うたびに思いました。サコソは、本当の神様、力強い真の神様を知らないのだと。

雨がふらず、ヤムイモや、他の作物に水が必要だったときもありましたが、クリのお父さんは、神様を信じ、祈りつづけました。私は、本当に、クリのお父さんはすばらしい人だなあと思われました。時には、ある人がヤムイモのつるをだめにしようと、クリたちの畑へ棒を持ってやって来たこともありましたが、そんな中でも、クリのお父さんは、神様を信じつづけました。また、クリがへびにかまれて、死にそうになったこともありましたが、しかしそこでも、クリのお父さんは神様に祈り、信頼しました。この姿は本当にすばらしいと思います。目に見えない、宣教師が伝えてくれた神様を信じるというこの信仰からとても学ばされました。必ず神様が、ヤム

イモを成長させてくださる、と信じきっていたと思います。私だったら、なんでこんなことばかりおきるのか、と思って、文句を言い、信仰からはなれてしまうと思います。クリのお父さんから本当に学ぶことができました。

ヤムイモは大きくなって、とうとう収穫のときがきました。掘り出してみると、そんなに大きくはありませんでしたが、たくさんのヤムイモでいっぱいでした。クリは、ヤムイモの味がどうか心配でした。それは、長老たちが、「苦いぞ。」と言っていたからです。お父さんは、「心配するな。」と言いました。お母さんが長い時間をかけて作ったスープがならべられ、お父さんがお祈りした後、みんなはスープを飲みました。それは、今までで、一番おいしいスープでした。そして、みんなは心をこめて言いました。「見よ。神様は力強いお方である!!」

私がこの本を読んで思ったこと、また学ばされたことが、三つあります。一つ目は、お父さんの信仰です。見たことのない、神様を信じて、ヤムイモを植えました。私も、目には見えませんが、確かに生きて、はたらかれておられる神様を、心から信じ、信頼したいです。今までの自分を悔い改めます。

二つ目は、宣教師の方々の熱い思いです。この宣教師の方々は、クリたちのために聖書を翻訳し、真の神様を伝え、教えました。一人でも多くの方がイエス様を知り、信じていることができるように、すごい努力をしました。私も、将来、このようなことをして、一人でも多くの人にイエス様を伝えたいです。

そして三つ目は、神様が育ててくださるものは、一番最高だということです。みんながヤムイモのスープを飲んだとき、今までで一番おいしかった、とありました。それは、万軍の主、力強い神様が、そのヤムイモを育ててくださったからだと思います。神様の御手の中にあるものは一番最高!!です。

「見よ。神様は力強いお方である！」アーメン。

第6回 チア・にっぽん杯 読書感想文大会 募集中！ 締切：11月1日

良書を読むこと、感想文を書くことは、神さまの栄光を現す力となります。昨年も40作品以上の素晴らしい作品の数々が寄せられました。今年もたくさんのご応募、お待ちしております！

- ◆対象作品：三浦綾子作品（どれでもOK）、あるいはチア書籍（どれでもOK）
- ◆部門：（1）小学生の部（400～1600字）（2）中高生の部（800～2000字）（3）一般の部（800～2000字）
- ◆締切：11月1日（火）
- ◆発表・授賞式：11月17日（木）夜7時 白馬セミナー会場（予定）
- ◆送り先：〒189-0013 東京都東村山市栄町1-5-4-103 チア・にっぽん事務局 「読書感想文係」
（※メールでも受け付けています →office@cheajapan.com）

いなちゃんの

お薦め映画ライブラリー

先月までの60作品の詳細はwww.cheajapan.com 映画ライブラリーコーナーへ

ムービーガイド賞受賞
アカデミー賞
ゴールデングローブ賞
最優秀作品賞ノミネート作品

『怪盗グルーの月泥棒』

幼な子の純粋な祈りと心は、意地悪な悪人の心を変える！
大人も楽しめるハートウォーミングアニメ作品

この作品は、我が家のジョセフ（2才半）も、50回以上、喜んで観ている、ほのぼのの心温まる作品。祈りは聞かれ、純粋な心は、人々を変えていくことを実感させます。ちなみに、「トイ・ストーリー」、「バグズライフ」等は、真祈史やエミリが幼い時に100回以上喜んで観た作品でした。「月泥棒」も、そのランクに入ってくるかな、、、とっています。「アイスエイジ」の製作陣が手掛けたこの作品は、「トイ・ストーリー2」を抜いて、アニメーション映画史上、興行成績ベスト10にランクアップ中です。

郊外の秘密基地で暮らす怪盗軍団ミニオンのリーダー・グルーは、盗みや意地悪をすることが大好きな皮肉屋。世界一の悪党を目指す彼が狙う盗みのターゲットは、何と『月』でした。グルーは、秘密兵器「縮小ビーム銃」を手に入れますが、ライバル怪盗・ベクターに盗まれます。グルーはベクター家に入りする三姉妹、養護施設で、良き養子先が見つかること、良き両親が与えられること等を祈っていた三姉妹を利用し、銃を奪回しようします。ところが悪人グルーは、何故かその三姉妹になつかれてしまい、心が変わっていきます。

原題は、「Despicable Me」でどうしようもない自分、見下げ果てた自分、卑しむべき自分、最低の自分、こんなだめな自分なんだけど、、、といったタイトルです。悪をしています、悔いる心へのうずきもあり、でも、悪を重ねていく、そんな自分に純粋になつてくる少女たちに、その背後の祈りに、『悪人』の心は動かされていきます。そのあたり、2才半のジョセフも感じ取って何度も観たいと言ったのだと思います。



声優は、笑福亭鶴瓶と子役の芦田愛菜



最初は、泥棒の話をお勧めできないかな、、、と観ていましたが、ほのぼのとした展開の中で、自分の心や、他者への姿勢のあり方が正され、いやされていく、良い作品と気付いていきました。それが、「大人が観て、励まされるアニメーション」として、興行成績が伸びていった理由なのでしょう。今年度の「ムービーガイド賞」にも輝いた、子どもも大人も何回でも観られる佳作です。日本語版の声優は笑福亭鶴瓶が行っています。アカデミー賞、ゴールデングローブ賞の最優秀アニメーション賞にノミネートされました。家族で観て、楽しみ、話し合う作品としてもお薦めです。



「ファイアー・ストーム」「フェイスング・ザ・ジャイアント」

試写会 受付中！

100週連続1位 (アメリカ・クリスチャン書店)
 「ファイアー・ストーム 決断する愛—夫婦の危機を救う40日プラン」
 SONYピクチャーズとチアとのコラボレーション！

〈 主催者の声 皆、感動しました！ 〉

数々のご手配、感謝いたします。「ファイアー・ストーム」の試写会は、大変恵まれ、予想以上に参加人数も集まりました。皆様、感動するとともに、ご自分の家庭のことなどを話す機会を持つことができ、感謝です。「フェイスング・ザ・ジャイアント」の試写会も楽しみにしております。引き続き、祈りつつ進めてまいります。(5月27日 藤沢オリーブチャペル 西 裕子)

〈仙台福音自由教会での試写会〉

・主の愛をさらにしっかり受け取りたいと思った。(40代 男性)

・結婚3年目に入る者ですが、この時期にこの映画を見ることができたことは本当に幸いでした。「自分は良き夫としてやってきた」という思いが、いかに妻に痛みを与えるのかを知ることができました。それは、かく然とする体験ではありましたが、しかし、「まず自分が愛する者とされなければ愛を期待してはならない」ということを教えられる時でした。また、結婚前は相手を知ろうとしていたのに、結婚すると止めてしまうというのは、まさに自分のことでした。「妻を知った気になっている」自分に気づかされ、恥じ入る思いでした。これからも、このような良き映画を期待します！(30代 男性)

・誠に説得力のある映画である。愛の力、宇宙の中核に愛があり、この愛によってすべてのものが(もちろん人間も)、動かされているとの思いを強くしました。しかし、映画のストーリーとしては、無理をしてあのような万々歳の結末に持って行ったような気がする。

とはいえ、あの結末は見る者の魂を揺さぶるに十分である。心にぐさっと入り込む力を持つ映画であり、私としても十分納得できました。(80代 男性)

・「愛する」ということを、思いと行動でどう表すか…という示唆を与えられました。主人公が父親から「神さまに委ねるか」と訊かれた時、「委ねる」と言えた素直さをうらやましいと思いました。自分の力にたい頼りがちです。神さまに委ね、信頼するからこそ、自分の分を果たせる。そのようになりたいです。(40代 男性)

・現在の自分の置かれた状況とそっくりだった。自分では十分に行い、忍耐しているつもりだが、自己中心、自己満足なのであろう。本当にパートナーとして離れない決意と覚悟があるか、考えさせられた。そして、自分では不可能。だからこそ、イエス・キリスト、神さまにより頼むことが大切であると再認識させられた。(40代 男性)

・素晴らしい映画でした。でも、自分に当てはめると時間がかかりそう。40日、43日、〇年？ (40代 女性)

たくさんのお申し込み、ありがとうございます。小規模で大歓迎ですので、ぜひ、お申し込みください！ DVDは、ご家庭等、個人的な場所での視聴以外、無許可で集会、教会等における上映会は、禁止されています。でも、「ファイアー・ストーム」「フェイスング・ザ・ジャイアント」については、チア・にっぽんが正式な窓口となって、ソニー・ピクチャーズ社に申請する道が開かれました。「上映&DVD販売会」という名目で許可を得る方法です。主に祝福された素晴らしい機会となると確信しています。

まずは資料をご請求ください。既に実施済みの教会、団体からは多くの感動と祝福のレポートが多数、寄せられています。皆さんの教会でも、両作品からの大いなる福音伝道の業が、広がっていくことを心から祈らせていただきます。詳細・問い合わせはチア・にっぽんまで (Eメール: kuwatani@cheajapan.com FAX03-6862-8648)。申し込み詳細は、HPでもチェックできます。www.cheajapan.com。お申し込みをお待ちしています！

試写会 「ファイアー・ストーム」「フェイスング・ザ・ジャイアント」

感動の声、続々！ 開催してみませんか？

(無料！少人数OK！) お申込みはチャまで！

<今後の予定>

「フェイスング・ザ・ジャイアント」

■7月8日(金) 神奈川 藤沢オリーブチャペル

<開催いただいた教会・団体>

「ファイアー・ストーム」

- 仙台 チア・サマーキャンプ
- 長野 チア・白馬セミナー
- 千葉 おゆみ野教会
- 東京 久我山キリスト教会
- 東京 福生ベテル教会
- 東京 日野キリスト教会
- 埼玉 ベテル・バプテスト教会
- 静岡 第45回教役者大会(ヤマハリゾート)
- 東京 武蔵野EFC教会
- 静岡 キャンパス・クルセード(ヤマハリゾート)
- 東京 クロスロード・インターナショナル葛西教会
- 滋賀 ジーザス・ハウス守山教会
- 埼玉 ANRCセミナー(ヘリテージ・リゾート)
- 札幌 ICF教会
- 石川 小松ベタニヤ福音教会
- 滋賀 東近江キリスト福音教会
- 静岡 VIP浜松
- 愛知 名古屋グローリアスチャペル
- 茨城 水戸第一聖書バプテスト教会
- 岡山 西大寺キリスト教会
- 北海道 札幌キリスト福音館
- 北海道 札幌キリスト福音館栗沢チャペル
- 千葉 千葉グレイスチャーチ
- 神奈川 横須賀キリスト教会
- チア・コンベンション(関西・東京)
- 岐阜 海津キリスト教会
- 神奈川 青葉台ナザレン教会
- 東京 東京ライトハウスチャーチ
- 大阪 阿倍野キリスト集会
- フォースクエア教団(年次総会)
- 愛知 名古屋グローリアスチャペル(2回目)
- 熊本 有明バイブルチャーチ
- 大阪 JECヒルズチャーチ
- 岐阜 海津キリスト教会(2回目)
- 埼玉 JEA心のオアシスリトリート
- 埼玉 KFG志木キリスト教会

- 神奈川 City Vision Glory Church
- 福井 敦賀自由キリスト教会
- 東京 東京シティチャーチ
- 静岡 インマヌエル総合伝道団浜松キリスト教会
- 東京 インマヌエル中目黒教会
- 東京 シオン・キリスト教団 蒲田教会
- 宮城 仙台福音自由教会
- 埼玉 Shalome Community Church
- 福岡 博多ニューライフ教会
- 岩手 RIM キャンプ
- 北海道 芽室キリスト教会
- 大阪 大阪クリスチャンセンター
- 福井 敦賀自由キリスト教会
- 宮城 仙台福音自由教会(2回目)
- 群馬 桐生キリスト教会
- 兵庫 神戸中央教会
- 東京 太平洋放送協会
- 千葉 主イエス・キリスト千葉教会
- 東京 久我山キリスト教会
- 東京 調布バプテスト・テンプル
- 兵庫 広畑キリスト教会
- 兵庫 神戸西バプテスト教会
- 北海道 中札内初穂キリスト教会
- 大阪 寝屋川キリスト教会
- 神奈川 藤沢オリーブチャペル

「フェイスング・ザ・ジャイアント」

- 仙台 チア・サマーキャンプ
- 神奈川 Living Water Church
- 東京 日野キリスト教会
- 埼玉 ANRCセミナー(ヘリテージ・リゾート)
- FCMF(自由クリスチャン伝道団)
- 千葉 市原シャローム教会
- 青森 弘前キリスト集会
- 大阪 JECヒルズチャーチ
- 埼玉 KFG志木キリスト教会

♪ ボイス&メール ♪ Voice & Mail

先日は結実・実歩がボランティアでお世話になりありがとうございました。彼女たちにとって、とてもよい体験だったようです。これからも私も含め被災者の方々に寄り添っていきたいと思いました。

さて今回ご連絡させていただいたのは、結実が4月24日のイースター礼拝で蒲田教会にて洗礼したことの感謝の報告です。

結実、チアの聖書の学び「聖書7 キリストの似姿に」やチアの交わりのなかで受洗の決心が与えられたようです。ハレルヤ!

これからもよろしくお願いたします。

感謝と御礼の報告をさせていただきます。

(埼玉 山口光男)



◆チア・マガジン34号、「中身が濃い!」と周りの皆さんにとっても評判です。私も何度も読み、皆さんの活躍をすごいと思いました。(Aさん)

◆お働き、心から主に感謝。応援しています。(Bさん)

◆ただ今書籍の注文がありました。「心を育てるために」の教科書10冊と聞いて、思わず「わあ〜。すごい」と声を上げてしまったら、こちらの教会では、皆さん教科書シリーズを一通りやっておられて、Kさん自身は「聖書2」「聖書3」は2回やったとか。今回注文分の聖書2(10冊)は、新しく教会に加わった方や、ご年配の方たち用だそうです。本当に素晴らしいテキストが与えられて、心から感謝しています!!とのことでした。

それから、「前回注文した『花かご』も、とても感動して、今教会の中でブームです!」ともお話をいただきました。(能登麻里スタッフ。*能登さんはチア・サポートスクールに加え、チアの電話対応等もしてくれています^^)

ハレルヤ! 主のみなを賛美します。

チアの皆様がいち早く震災への支援を具体的に行われるニュースに敬意を表しますと共に、関西という距離の中で自分たちに何が出来るかを思うチャレンジを頂いています。

本日、少しですが、震災義捐金を振り込みました。これは先日ヒルズチャーチで募った分です。チア・サポート派遣に用いてくだされば幸いです。

私たち家族は、恵みによって支えられて次男 新(あらた)の一年生を迎えました。教会の大城ファミリーも共に支えあいながらのホームスクーリングとなり感謝です。ヒルズチャーチで入学・進級式を行いました^^!

私たちは圧倒的勝利者! 今朝のみことばでした^^
ヒルズチャーチHSサポート校 ささやかな…いやさ
わやかな^^入学進級式の写真を添付します。

(大阪 伊藤義和)



ハレルヤ! 主の御名を賛美します。「レースカー」キット申込みます。我が家は白馬に今年で3回目の参加の予定です。初めての白馬で「レースカーグランプリ」に出会いました。昨年2回目に参加した時は、当日にキットを購入してカーレースに参加したいと思っていたのですが、キットがトドかなかったということで残念思いをしました。今年こそはぜひレースカーをGETして参加できたらと思っています。よろしくお願いいたします。(Dさん)

《チアからのご返信》↓~~~~~

この度は、「レースカー」キットのお申し込み、誠にありがとうございます! 2個ということで承りました。只今、アメリカにて仕入れましたので、これからお送りしますね。

今年の白馬にも参加していただけるんですね! 本当に感謝です。

昨年の白馬では、残念な思いをさせてしまって、ごめんなさい<(_>>

どうぞ、その残念だった思いを今年の白馬にぶつけて、ぜひ、優勝、ねらってくださいね(^_^)/

ご丁寧にメールありがとうございます。早速、発送して下さったとのこと、感謝します。

「トラ・トラ・トラ」は、戦時中、予科練の飛行兵だった父に、「フェイスング・ザ・ジャイアント」は、今年、大学のアメフト部に入った甥っ子とアメフトのことを一生懸命勉強している、未信の姉に、「プリンス・オブ・エジプト」は、今年、チア・にっぽん（コンベンション）が無くなってしまったため、急きょ、スクールでの宿泊学習となり、夜のビデオタイムにと、注文させていただきました。

私たちスクールのために、いつもお祈りありがとうございます。おかげさまで、主に在って、皆元気しております。昨年、中二の男子生徒が受洗し、主の御名をあげました。

昨年の「クリスマスのつどい」では、三浦綾子さんの「したきりすずめのクリスマス」を（幼児学園の子どもたちと一緒に）ミュージカルで演じました。

コンベンションがなくなり、がっかりしているお友だちもいて、「白馬、いいなあ！！」と、個人的に思っております。「クリスマスのつどい」前で、日程的に厳しいかもしれませんが、早速、先生方にご相談してみます。お声をかけて下さり、ありがとうございます。

チアのお働きは、ホームページ等でいつも拝見しています。東日本大震災で大変な被害にあわれた方々のためにお祈りしております。一日も早く、復興がなされますよう祈ります。チアの皆様のお働きの上にもお祈りしております。

実は、稲葉先生のお子さん方の成長もひそかに楽しみに拝見させていただいております。

稲葉先生にもどうぞよろしくお伝えくださいませ。感謝します。(Cさん)



今回、被災地支援にあたっては、チアが、素早くニーズに対応し、継続した行動ができていて、素晴らしいと思った。ノンクリスチャンと深いコミュニケーションができていて、すごい。また、すぐにマガジンやホームページで、詳細なドキュメントも編集、報告が続いていて、それもよかった。クリスチャンはかくあるべしとの模範を示してくれたと思う。(Dさん)

みなさんのお祈りに支えられて、3月22日に第4子（三女）が誕生しました。お祈りありがとうございます(^.^)。素直、純粋、賢いの意味を込めて、すずかと名付けました。お兄ちゃんお姉ちゃん達にもまれながらも元気に成長しています。今後ともよろしく願いします。(東京 豊田肇・宏子)



大震災の夜から陣痛が始まり、翌日3月12日の早朝に第3子、2840グラムの元気な女の子が生まれました。名前は植野「らん」です。「ご覧になる」という表現が聖書にたくさん出てきますが、神様の視点を持って物事を見る子になって欲しいという願いをこめて「らん」としました。また英語でrunと言えば走るという意味です。どんな状況でも神様のところに走り寄るという意味もこめました。

大地震の中で、この子が生まれてきたことを考えると、神様がこの子に使命を与えておられることを思わずにおられません。名前の通りに成長しますように、また神様から与えられた使命を果たしますように、祈りつつ育てていくことが私たち親の使命と思っています。「らん」をよろしく願いいたします。

(埼玉 植野伸一・愛)





いよいよスタート！ 東京・土曜伝道

昨年12月末から、「東京伝道体験デー」として、準備を進めてきました「東京伝道」チーム。4月からは伊勢崎チームに、丸森チームも合流して、8名あまりで、本格的にスタート。現在、足立区の10万世帯に、伝道のパンフレット配布が終了した状況です。毎週、土曜日午後には、都内の駅前でのブラカード伝道を行っています。どなたでも大歓迎です。滅び行く日本の魂のために、聖句ブラカード&トラクト伝道に参加してみませんか。1時間でも参加できる方は、ぜひ、どうぞ！



今後のスケジュール

- | | | |
|----|-----|------------|
| 6月 | 18日 | 上野／
秋葉原 |
| | 24日 | 池袋 |
| 7月 | 2日 | 新宿東口 |
| | 9日 | 新宿西口 |
| | 16日 | 渋谷 |

■ 時間13:00～18:00

(お昼を済ませて来てください)。
※毎月最終週は金曜日。

どなたでも大歓迎！ 参加ご希望の方は事前にご連絡ください。
TEL 090-1760-6573 (古郡昌義(フルゴオリ・マサヨシ)さんまで)
e-mail: masayuki@sacra.com (田村正幸さん)

チア・にっぽんカレンダー

- チアにっぽん関東ミニ学習会（予定）
7月11日（月）10時30分～15時30分
「ザ・学習/GSセミナー/ストレッチ/
バスケットボールスペシャル」
- ◆国立オリンピック記念青少年総合センター
（代々木 小田急線参宮橋駅7分）
- 白馬セミナー ホテル・グリーンプラザ白馬（長野）
11月17日（木）-19日（土）（予定）
主講師 エリザベス・スミス 弁護士夫人

GLEEM

第13回（2011秋）

5カ月 ホームステイ in カナダ

カナダの雄大な大自然に囲まれながら英語を学習し、神様との関係も深められると好評のGLEEM留学プログラム。そのほか、スキー、スケート、ロッククライミングなど盛りだくさんのアクティビティや、クリスチャン教育も充実！ 地元カナダのクリスチャンスクールの生徒さんたちとも交流を持つことができ、さらなる英語の実力がつけられます！

第13回目を迎える今年の秋のプログラムに、中村光美さん、江原南さんの参加が決まりました！ どうぞ、祝福をお祈りください。

詳細はチア・にっぽん事務局へ（TEL 042-318-1807、メール：kuwatani@cheajapan.com）。

お申込みはお早めに！

■次回の予定 <秋のプログラム>予定

出発：8月13日

帰国：2012年1月中旬

「第4回みことば習字コンクール・ 絵画・写真作品展」作品大募集！！

- 展示日時：2011年10月12日（水）
- 場所：国立オリンピック記念青少年総合センター（全応募作品は白馬セミナー会場にも展示）
*同時開催「ホームスクーラーなんでも発表会」も大募集!!
- 主催：八丁習字クラブ
- 募集案内等詳細はafruitfulvine.128@nifty.com
or 090-6178-2840（上原まで）

チア・東北サポート 義捐金 受付口座

- 「郵便振替」：00190-3-35461 チア・にっぽん事務局
- 「銀行」：三菱東京UFJ銀行 赤羽駅前支店
普通 1446697 ホームスクーリング・ビジョン(株)

チア献金 受付口座

- 「郵便振替」：00190-3-35461 チア・にっぽん事務局